

# グローバル・スタディーズ研究科

- \* グローバル社会専攻のカリキュラムについては、  
English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2026」を参照

国際関係論専攻

地域研究専攻

グローバル社会専攻

国際協力学専攻

## 1. グローバル・スタディーズ研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

国際関係の諸側面とそれらをめぐる諸問題を多角的に研究する国際関係論、アジア、中東、アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ等の内在的な理解を重視する地域研究、グローバル・イシューに多面的にアプローチするグローバル社会専攻、「国際協力」に関して高度で包括的な理解を深める国際協力学専攻のそれぞれの方法論を活かし、相互に関連してグローバル化する現代世界を総合的に理解することのできる専門研究者及び高度専門職業人を育成する。

## 2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 国際関係論専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、世界平和と世界正義問題に積極的に取り組み、戦争を防止し、多様で自由な国際社会を築けるような問題関心を持ち、今日の国際社会が直面する諸問題の解決に積極的に貢献できるような研究者や専門家を養成することを目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 安全保障・紛争、貧困・開発、移民・難民、国際協力の在り方など国際社会が直面する諸問題に関する問題意識が明確かつテーマ設定が適切で、国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与する力
2. 国際関係論およびその関連領域の知識を理解し、現代の国際関係の事象またはグローバル・イシューを鋭利な問題意識と批判的精神で分析し、問題解決に向けて提言する力
3. 地球環境・国際社会について幅広い問題関心を持ち、国際関係の理解に、国際政治学、国際経済学、国際社会学・比較社会学、国際協力論といった学際的な視点と、国家や社会や地域に関する比較の視点からアプローチする力
4. 先行研究をふまえ、的確な構成、緻密な分析、明快、論理的で説得力のある学術論文を書く力

#### 【博士後期課程】

本課程では、世界における平和と正義の問題に積極的に取り組み、戦争を防止し、多様で自由なグローバル社会を築けるような問題関心を持ち、今日の国際社会が直面する諸問題の解決に積極的に貢献できるような研究者や専門家を養成することを目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、対象分野に関する新しい知見の発見、ないしは既存の知見に対する新しい解釈が提示する力
2. 自ら選んだ専攻分野における独創的かつ先端的な研究であり、自立的研究者として研究を遂行することができる能力
3. 論文の主要部分が学術雑誌などに出版、あるいは提出されている能力
4. 専門領域での方法論と先行研究をふまえ、的確な構成、緻密な分析、明快、論理的で説得力とオリジナリティのある学術論文を書く力

### 地域研究専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、現場の視点を重視した地域立脚型のアプローチに基づき、歴史的文化的背景に配慮しながら、グローバル・イシューの原点解明と解決をめざすフィールドワーカー養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 東アジア、東南アジア、南アジア、中東、アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカの各地域の言語を用い、フィールドワークに基づいた方法論を確立する力

2. 国単位ではない地域社会からの発想、及び複数の学問による共同研究によって既存の学問ではとらえきれない問題へ挑み、分析・理解する力
3. グローバルな諸現象の解明に地域の視点とアプローチから学術的・社会的に貢献し、次世代地域研究者としてグローバルな市民社会とローカルな多様性を支える力
4. 明確な問題意識をもち、十分な先行研究を行った上で、的確な論文構成と整合性のある論旨展開を備えた修士論文を仕上げる力

### 【博士後期課程】

本課程では、研究課題解明のための適切且つ独創的な地域へのアプローチと方法論に基づき、関連学問分野の発展に貢献する地域研究の高度な学術水準を満たすことを目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 今日的課題解決のための適切なアプローチを、学問上の貢献と合わせて開発・確立し、さらに研究課題の解明に必要な十分な言語能力を運用したうえで、フィールドワークを遂行し独自の資料入手と分析をする力
2. 将来の学際的な共同研究も視野に入れた、研究課題の設定及び学術的貢献の可能性を洞察する力
3. 博士前期課程で身につけた方法論や知識をもとに、自らの専門領域を深めるべく研究を進め、独自性があり、学術的社会的貢献が期待できる博士論文を仕上げる力。

## グローバル社会専攻

### 【博士前期課程】

#### <グローバル社会研究>

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たした者は、これらを身につけたものと認め、グローバル社会研究の学位を授与します。

1. 専門的知識、世界に通用する文化的対応能力
2. 修士論文およびグラデュエーション・プロジェクトは、文法的・語法的に正しく、明確かつ簡潔で適切な表現で書かれた文章であること、研究テーマの設定が明確に示され、適切な研究のもと説得力のある結論が導き出されていることを目指す。
3. グローバルな諸事象の研究のための基本的な概念を分析する能力
4. 国際的な組織、政府、NGO、マスメディア、教育機関その他の組織に十分に参画し、指導的な役割を果たす能力

#### <国際経営開発学>

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たした者は、これらを身につけたものと認め、国際経営開発学の学位を授与します。

1. 専門的知識、世界に通用する文化的対応能力
2. 修士論文およびグラデュエーション・プロジェクトは、文法的・語法的に正しく、明確かつ簡潔で適切な表現で書かれた文章であること、研究テーマの設定が明確に示され、適切な研究のもと説得力のある結論が導き出されていることを目指す。
3. 特に日本とアジアに着目し、現代社会でのグローバルなビジネスおよび開発における多様な問題に対応するための分析をする能力
4. 先進国・発展途上国の経済状況を深く理解し、国際的な組織・政府・ビジネスで必要な専門的な経営管理能力

#### <比較日本研究>

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たした者は、これらを身につけたものと認め、比較日本研究の学位を授与します。

1. 専門的知識、世界に通用する文化的対応能力

2. 修士論文およびグラデュエーション・プロジェクトは、文法的・語法的に正しく、明確かつ簡潔で適切な表現で書かれた文章であること、研究テーマの設定が明確に示され、適切な研究のもと説得力のある結論が導き出されていることを目指す。
3. 日本の歴史、文学、宗教、美術史、社会、文化について、総合的、学際的に理解する能力
4. 教育機関その他の、日本に関する専門的な知識を必要とする組織において必要な日本語力と学術的知識を身に付ける

### 【博士後期課程】

#### <グローバル社会研究>

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たした者は、これらを身につけたものと認め、グローバル社会研究の学位を授与します。

1. 高度専門職にふさわしい専門知識
2. 博士論文は、文法的・語法的に正しく、明確かつ簡潔で適切な表現で書かれた文章であること、独創性、独自性のある研究テーマの設定が明確に示され、深く、適切な研究のもと説得力のある結論が導き出されていることを目指す。
3. 関連する基本的な概念に精通し、方法論を用いて達成された、グローバル社会研究領域における独創的な貢献をする力
4. 高等教育機関における教育研究職や、グローバルな諸事象に対する専門的な理解と分析を必要とする組織での職務に就くに十分な、グローバル社会研究領域に対する理論と方法の専門的知識を身に付けさせる。

#### <比較日本研究>

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たした者は、これらを身につけたものと認め、比較日本研究の学位を授与します。

1. 高度専門職にふさわしい専門知識
2. 博士論文は、文法的・語法的に正しく、明確かつ簡潔で適切な表現で書かれた文章であること、独創性、独自性のある研究テーマの設定が明確に示され、深く、適切な研究のもと説得力のある結論が導き出されていることを目指す。
3. 博士学位は、関連する基本的な概念に精通し、方法論を用いて達成された、比較日本研究領域における独創的な貢献をする力
4. 日本研究領域の特定分野において高等教育機関における教育研究職に就くに十分な専門性を身につけ、また、自らの専門分野において高度・革新的なレベルの研究を続けてゆく能力を身に付けさせる。

## 国際協力学専攻

### 【修士課程】

本専攻では、一国の枠組みを超えたさまざまな「グローバルな課題」に対処し、国際社会の連帯を必要とする平和協力や平和構築、持続可能な経済や社会の開発、教育開発などの分野で、幅広い知見と実践力を兼ね備えた「グローバル人材」を育成することを目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。この修了要件を満たし、論文ないし研究課題審査に合格すれば、これらを身につけたものとみなし、学位を授与します。

1. 国際社会が必要とする国際協力の分野に関し、国際協力の理念、概念、理論を整理、理解し、さらに国際協力の方法論や国際協力を推進する国際機関、政府機関、NGO、民間セクターなどの役割と機能を学び、その上に立って国際協力に従事する上でのスキルと実践力を持つ。
2. 平和協力・平和構築や持続可能な開発/社会・教育開発の各分野で、国際社会のこれまでの取り組みや現状の状況に関する深い知見を持ち、さまざまな課題解決のために実践的かつ実現可能な政策や方策を見出す力を持つ。
3. 国際協力を推進する上で関連する国際関係論や国際社会学、国際経済学、統計学、教育開発、文化社会、地域研究など幅広い学識分野と連携させながら国際協力を考え、批判的および論理的議論の展開力、実践的コミュニケーション能力を有する。
4. 先行研究をふまえ、的確な構成、緻密な分析、明快、論理的で説得力のある学術論文もしくは研究課題を書く力

## 3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 国際関係論専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的とした二つの科目群により、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 本課程では、学際的視点と比較の視点を修得すべく、国際政治・比較政治系と国際社会・国際協力系の履修群を二本柱とし、各群から一定の単位を修得し、国際関係論を体系的かつ幅広く研究することを目指している。
2. 国際政治・比較政治系では、国際関係論、国際政治学、比較政治学、平和研究、安全保障など国民国家の安全保障に関連する研究を行う。国際社会・国際協力系では国際経済学、国際社会学・比較社会学、国際協力論など国民国家の枠を超えて、人の安全保障に関連する研究を行う。
3. 国際関係論の理論や先行研究理解を踏まえ、独自の問題関心にしがたが、国際社会が直面する諸問題に関する問題意識が明確かつテーマ設定が適切で、国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与できるような修士論文の作成に取り組ませる。
4. 修士課程での研究の発展を促すために、1人の学生を主指導教員と副指導教員の複数指導体制によって研究指導を行う。複数の教員の指導によって幅広い知識と視野を得て、学生が独自の研究を円滑に進めることが出来る指導体制とする。

#### 【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、個別研究の独創性と学術的貢献についての認識を深め、学術上の研究成果をあげるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員と作成した独自のカリキュラムによって研究を進め、学会での発表や学術誌への投稿を行う。そのことで専門的な知識をえるだけでなく、高度な独創性をもった独自の研究を深めていく。
2. 本課程では、学際的な研究を遂行できるように複数の専門領域を学ぶことを学生に期待しており、博士論文の第一段階は、国際関係論で開設されている二科目を選択して受験する「博士論文資格試験」に合格することにより、この試験を経ることによって、複数の専門科目に関する幅広い知識と視野を得ることを目指す。
3. 博士論文の第二段階は、「博士論文計画書」を作成する。指導教員の指導によって独自に計画書の作成を進め学会での報告や学会誌への投稿を行うが、それらの研究成果に基づく具体的で体系的な博士論文の執筆計画を提出

し審査される。「博士論文計画書」によって、博士論文作成は最終執筆の段階に至る。

## 地域研究専攻

### 【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの実現を目的として、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 必修の基礎科目により、地域研究の基礎と多様で総合的な方法と地域立脚型の視点を修得させる。
2. 地域間比較科目により、研究対象とする地域及び主として用いる方法論の相対化を促し、また比較の視野を培うことによって個別研究の学術的貢献について客観的に把握する力をつける。
3. 地域研究専門科目により、研究対象に適切な方法論及び専攻研究成果を踏まえた、整合性のある論理展開が出来るように訓練する。

### 【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの実現を目的として、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. フィールドワークによる独創的な資料入手及びアプローチの開発を促すために、指導教員との個別論文指導を行う。
2. 指導教員及び専攻内で開設されている科目への積極的な参加を通じて、他分野、他地域の学生と幅広く議論する。
3. 博士論文提出資格試験により、言語能力、論理的思考も含めた学術水準の到達度を審査する。
4. 博士論文提出資格試験に合格したのち、博士論文計画書審査と博士論文計画セミナーの実施を経て博士論文完成へと導く。

## グローバル社会専攻

### 【博士前期課程】

#### <グローバル社会研究>

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. グローバル社会研究の分野において、多国籍・多文化な社会において、英語または他の言語により活躍できる人材を育成する。
2. コースワークとして講義、演習、実習等を体系的に組み合わせ、リサーチワークとして指導教員からの指導を受けるカリキュラムを適切に設ける。
3. 論文コースとクレジットトラックコースを設け、教員と学生が緊密に連携することにより、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うカリキュラムを編成する。

#### <国際経営開発学>

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 国際経営開発の分野において、多国籍・多文化な社会において、英語または他の言語により活躍できる人材を育成する。
2. コースワークとして講義、演習、実習等を体系的に組み合わせ、リサーチワークとして指導教員からの指導を受けるカリキュラムを適切に設ける。
3. 論文コースとクレジットトラックコースを設け、教員と学生が緊密に連携することにより、専攻分野における研

究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うカリキュラムを編成する。

#### <比較日本研究>

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 比較日本研究の分野において、多国籍・多文化な社会において、英語または他の言語により活躍できる人材を育成する。
2. コースワークとして講義、演習、実習等を体系的に組み合わせ、リサーチワークとして指導教員からの指導を受けるカリキュラムを適切に設ける。
3. 論文コースとクレジットトラックコースを設け、教員と学生が緊密に連携することにより、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うカリキュラムを編成する。

### 【博士後期課程】

#### <グローバル社会研究>

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. グローバル社会研究の特定の領域で深い専門知識を修得し、かつ国際的なキャリアに必要な文化的対応能力を備える者を育成する。
2. コースワークとして講義、演習、実習等を体系的に組み合わせ、リサーチワークとして指導教員からの指導を受けるカリキュラムを適切に設ける。
3. 学生が、グローバル社会研究に関する創造性豊かな研究を自立して遂行できる知識と技能を身につけ、高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人を養成する。

#### <比較日本研究>

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 比較日本研究の特定の領域で深い専門知識を修得し、かつ国際的なキャリアに必要な文化的対応能力を備える者を育成する。
2. コースワークとして講義、演習、実習等を体系的に組み合わせ、リサーチワークとして指導教員からの指導を受けるカリキュラムを適切に設ける。
3. 学生が、比較日本研究に関する創造性豊かな研究を自立して遂行できる知識と技能を身につけ、高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人を養成する。

## 国際協力学専攻

### 【修士課程】

本専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、「平和構築・国際関係」、「国際教育開発」、「持続可能な社会の促進」を柱とし、基礎科目と、海外実習科目、応用科目、応用実務科目、連携科目を、バランス良く配置します。それぞれの専門領域に応じて、中核科目群の基礎科目で得た幅広い知識をベースに、専門科目群の応用科目や応用実務科目、連携科目を通じて、各専門領域の分析、論理構成、知見をさらに深め、専門性と実践力を高めるカリキュラムを編成しています。

1. 基礎科目では、上の専門領域の基礎となる科目を配置し、幅広い領域を扱う国際連合や関連した専門的国際機関の役割や機能を学び、さらに国際協力に関する基礎科目や研究の基礎となる調査方法論、スキルの向上、平和構築論、コミュニケーション論などに関する科目を配置することにより、国際協力に関する基礎知識を修得さ

せるとともに、思考力、論理的議論の展開力、実践的コミュニケーション力の基礎を養います。

2. 海外実習科目では、貴重な実体験を提供することにより、実務型の知識とスキルや実践力を向上させます。
3. 応用科目および応用実務科目では、各領域の知識を広め、分析力や思考力および議論の展開力を高め、専門性を深めるための科目を配置します。平和構築・国際関係では、国際連合などによる平和協力だけではなく、地域機関やサブ地域機関、専門的国際機関、国際NGO、民間セクターとの連携や主要国の外交が与える影響、人間の安全保障への貢献などの理解を深めます。国際教育開発では、人口や人の移動と開発の関係や地域社会の役割、環境と開発のバランス、公教育における教育の公平性や質の向上だけでなく、学校外のノンフォーマルな教育開発にも寄与する要件を学ぶ機会を提供します。持続可能な社会の促進では、政府による開発援助、私企業を含む民間セクターの直接投資、環境やジェンダーに即した開発論など、より実践的な科目を中心とします。
4. 連携科目には、国際政治や国際政治経済の理論から国際開発協力における地域の特性や地域的開発アプローチの研究など多様な科目を配置し、専門領域に関する学識分野についての幅広い知見を強化する役割を果たします。必要に応じて、他の研究科、専攻の科目を履修できるように設計し、専門領域の知見と分析力や思考力および議論の展開力をさらに高める機会を提供します。

## 国際関係論専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
・選択必修科目	30		
└自専攻科目	18		国際政治・比較政治系から12単位・国際社会・国際協力学系から6単位、国際社会・国際協力学系から12単位・国際政治・比較政治系から6単位、いずれかの組み合わせで履修すること
└国際政治・比較政治系	12または6		
└国際社会・国際協力学系	6または12		
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される（履修要覧〔ガイド・資料編〕P.ガイド56参照） 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

- ▶前期課程学生は、〔国際政治・比較政治系〕履修群および〔国際社会・国際協力学系〕履修群から12単位以上、もう一方から6単位以上を履修しなければならない。
- ▶前期課程学生は、「研究指導」を在学中、毎学期履修し、必要な科目数を合格しなくてはならない。
- ▶前期課程修了条件は、履修上の注意にしたがった上で、30単位以上の単位を修得し、定められた手続きにより修士論文を提出して、口述試験に合格することである。

### 【定められた手続きに関するスケジュール】

#### <博士前期課程1年次>

4月上旬	入学式
4月上旬	国際関係論専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
4月中旬	「博士前期課程指導教員仮届」提出
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
9月下旬～10月上旬	博士前期課程2年生の修士論文中間報告会出席（観覧者として）
10月上旬	「指導教員変更届」提出（変更者のみ）

#### <博士前期課程2年次>

4月上旬	国際関係論専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
4月中旬	「指導教員仮届及び修士論文提出予備届」提出
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
9月下旬～10月上旬	修士論文中間報告会出席（報告者として）
11月上旬	「国際関係論専攻修士論文提出本届」提出
1月上旬	修士論文提出期日
2月上旬	修士論文口述試験（後日結果通知）
3月下旬	修了式

## 【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与していること。
- 2) 先行研究が十分に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 論文の言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< (国際政治・比較政治系) 履修群 >			
対外政策研究1		2	
対外政策研究2		2	
比較政治学研究1		2	
比較政治学研究2		2	
現代ロシア政治研究		2	
ロシア政治史研究		2	
国際政治史研究1		2	
国際政治史研究2		2	
日本外交史		2	
ヨーロッパ比較政治研究1		2	
ヨーロッパ比較政治研究2		2	
アメリカ政治外交研究1		2	
アメリカ政治外交研究2		2	
グローバル・ガバナンス論研究1		2	
グローバル・ガバナンス論研究2		2	
国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ)		2	
国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ)		2	
地域統合研究1		2	
地域統合研究2		2	
国際安全保障研究1		2	
国際安全保障研究2		2	
境界研究1		2	
(他) 政治学研究 I (政治経済文献講読) ※注1		2	
(他) 政治学研究 II (リサーチデザイン) ※注1		2	
(他) UN STUDIES※注2		2	
(他) PEACEBUILDING SEMINAR※注2		2	
(他) HUMAN SECURITY AND PEACEBUILDING ※注2		2	
(他) 国際政治と国際協力※注2		2	
(他) 中国政治外交※注2		2	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< (国際社会・国際協力系) 履修群 >			
開発経済学研究(理論と実証) 1		2	
開発経済学研究(理論と実証) 2		2	
LIFELONG LEARNING AND EDUCATION		2	
DEVELOPING SUSTAINABLE EDUCATION		2	
国際社会学研究1(基礎)		2	
国際社会学研究2(応用)		2	
POLITICAL SOCIOLOGY 1 (THEORY)		2	
POLITICAL SOCIOLOGY 2 (EMPIRICAL RESEARCH)		2	
現代ロシア経済研究		2	
体制移行経済研究		2	
言語社会学研究1		2	
言語社会学研究2		2	
国際経済学研究1		2	
国際経済学研究2		2	
国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ)		2	
国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ)		2	
環太平洋移民史研究1		2	
環太平洋移民史研究2		2	
ユーラシア移民研究		2	
社会科学の方法論1(基礎)		2	
社会科学の方法論2(応用)		2	
比較社会政策研究 1		2	
比較社会政策研究 2		2	
現代ロシア社会研究		2	
(他) MARGINALIZED PEOPLES AND COMMUNITIES 1※注2		2	
(他) MARGINALIZED PEOPLES AND COMMUNITIES 2※注2		2	
< その他 >			
(他) 分野横断研究法: 原理と技法 ※注3		2	

※注1: 法学専攻開講科目

上記注1科目の詳細については各専攻の履修要覧を確認すること。

※注2: 国際協力学専攻開講科目

上記注2科目の詳細については各専攻の履修要覧を確認すること。

※注3: 神学研究科神学専攻開講科目

上記注3科目の詳細については、3. 履修上の注意10) を確認すること。

### 3. 履修上の注意

- 1) 前期課程学生は、〔国際政治・比較政治系〕履修群および〔国際社会・国際協力学〕履修群のいずれかから12単位以上、もう一方から6単位以上を修得しなければならない。各履修群の分類については「2. 授業科目の編成・単位」を参照すること。
- 2) 前期課程学生は、1年次入学とともに、なるべく早く修士論文の指導教員（本学国際関係論専攻担当専任教員）を決定し、必要な科目を履修すること。
- 3) 前期課程学生は、ガイダンスにて配布される「指導教員届」を専攻事務室に提出しなければならない。
- 4) 年度初めに行うガイダンスで「研究指導」「修士論文」について説明を行うので、必ず出席すること。
- 5) 前期課程学生は、「研究指導」を在学中、每学期履修し、必要な科目数を合格しなくてはならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 6) 科目選択にあたっては指導教員と相談の上、決定することとする。
- 7) 前期課程修了条件は、上記1)～6)にしたがった上で、30単位以上の単位を修得し、定められた手続きにより修士論文を提出して、口述試験に合格することである。
- 8) 前期課程において、大学院学則の規定に従い、本専攻入学以前に国内外の大学院で既に修得した単位を、本専攻修了に必要な単位として認定を受けることができる（入学前既修得単位認定）。また本専攻在学中に留学先大学院等で修得した単位を、本専攻修了に必要な単位として換算することを申請できる（単位換算）。いずれの場合も、学事センターへ申請が提出された後、本専攻にて審議し、認定の可否を判断する。単位数は、本学の基準により計算する。認定・換算できる総単位数は10単位を上限とする。
- 9) 他の研究科の授業科目を履修し、その単位を自専攻の修了に必要な単位として算入する場合は、Loyolaでの履修登録手続きに加え、所定の手続きが必要となる。詳細は、履修要覧〔ガイド・資料編〕P.ガイド37を参照すること。
- 10) 分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された「分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講）により修得した単位は、自専攻科目18単位には含まれず、選択必修科目30単位に含まれる。科目の詳細については、神学専攻の履修要覧を確認すること。なお、評価にはP（合格）・X（不合格）を使用する。
- 11) 2023年度以前に履修した科目を確認する場合は、2023年度以前の履修要覧を確認すること。
- 12) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、指導教員、専攻主任、専攻事務室などと相談すること。

## 4. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS599-66j00	下川 雅嗣	
	岸川 毅	
	稲葉 奈々子	
	湯浅 剛	
	河崎 健	
	高島 亮	
	安達 祐子	
	木村 護郎クリストフ	
	前嶋 和弘	
	小林 綾子	
	飯島 真里子	
	鈴木 一敏	
	中内 政貴	
	小島 真智子	
	齊藤 孝祐	
	WEISS Tobias	
	MUKHINA Varvara	
	牧 陽子	
	天野 尚樹	
李 承赫		

## 開講科目一覧表[国際関係論専攻博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MFIR6200	休講	対外政策研究1	IRS503-66j00	2			「対外政策専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6220	休講	対外政策研究2	IRS504-66j00	2			「対外政策専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6920	休講	国際経済学研究1	IRS553-66j00	2			隔年開講、旧「国際経済学研究1(理論)」、「国際経済学専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6930	休講	国際経済学研究2	IRS554-66j00	2			隔年開講、旧「国際経済学研究2(ケース・スタディ)」、「国際経済学専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6900	春	国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ)	IRS551-66j00	2	下川 雅嗣		隔年開講、「国際政治経済論専門研究1(経済学的アプローチ)」と合併、博士前期課程対象
MFIR6910	秋	国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ)	IRS552-66j00	2	下川 雅嗣		隔年開講、「国際政治経済論専門研究2(経済学的アプローチ)」と合併、博士前期課程対象
MFIR7200	春	国際政治史研究1	IRS567-66j00	2	李 承赫		「国際政治史専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR7210	秋	国際政治史研究2	IRS568-66j00	2	李 承赫		「国際政治史専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR7130	秋	日本外交史	IRS560-66j00	2	高橋 和宏		隔年開講、博士前期課程対象
MFIR7140	春	POLITICAL SOCIOLOGY 1 (THEORY)	IRS561-66e00	2	WEISS Tobias	○	「ADVANCED POLITICAL SOCIOLOGY 1 (THEORY)」と合併、博士前期課程対象
MFIR7150	秋	POLITICAL SOCIOLOGY 2 (EMPIRICAL RESEARCH)	IRS562-66e00	2	WEISS Tobias	○	「ADVANCED POLITICAL SOCIOLOGY 2 (EMPIRICAL RESEARCH)」と合併、博士前期課程対象
MFIR7080	休講	LIFELONG LEARNING AND EDUCATION	IRS523-66e00	2		○	「NON-FORMAL EDUCATION AND LIFELONG LEARNING」(国際協力学専攻)と合併、博士前期課程対象
MFIR7090	秋	DEVELOPING SUSTAINABLE EDUCATION	IRS524-66e00	2	(他)丸山 英樹	○	「EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT」(国際協力学専攻)と合併、博士前期課程対象
MFIR6740	春	アメリカ政治外交研究1	IRS527-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6750	秋	アメリカ政治外交研究2	IRS528-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6030	春	グローバル・ガバナンス論研究1	IRS529-66j00	2	小林 綾子		「グローバル・ガバナンス論専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6040	秋	グローバル・ガバナンス論研究2	IRS530-66j00	2	小林 綾子		「グローバル・ガバナンス論専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR7160	春	開発経済学研究(理論と実証)1	IRS563-66j00	2	高島 亮		「開発経済学専門研究(理論と実証)1」と合併、博士前期課程対象
MFIR7170	休講	開発経済学研究(理論と実証)2	IRS564-66j00	2			「開発経済学専門研究(理論と実証)2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6300	春	比較政治学研究1	IRS505-66j00	2	岸川 毅		「比較政治学専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6310	秋	比較政治学研究2	IRS506-66j00	2	岸川 毅		「比較政治学専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6860	1Q	社会科学の方法論1(基礎)	IRS549-66j00	2	*小林 蒼明		旧「統計学と国際社会研究1(基礎)」、博士前期課程対象、注1
MFIR6870	2Q	社会科学の方法論2(応用)	IRS550-66j00	2	*小林 蒼明		旧「統計学と国際社会研究2(応用)」、博士前期課程対象、注1
MFIR6370	春	国際社会学研究1(基礎)	IRS507-66j00	2	稲葉 奈々子		「国際社会学専門研究1(基礎)」と合併、博士前期課程対象
MFIR6380	秋	国際社会学研究2(応用)	IRS508-66j00	2	稲葉 奈々子		「国際社会学専門研究2(応用)」と合併、博士前期課程対象
MFIR6990	休講	現代ロシア政治研究	IRS574-66j00	2			隔年開講、「現代ロシア政治専門研究」と合併、博士前期課程対象
MFIR6350	春	ロシア政治史研究	IRS575-66j00	2	湯浅 剛		隔年開講、「ロシア政治史専門研究」と合併、博士前期課程対象
MFIR6483	休講	ヨーロッパ比較政治研究1	IRS537-66j00	2			「ヨーロッパ比較政治専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6484	休講	ヨーロッパ比較政治研究2	IRS538-66j00	2			「ヨーロッパ比較政治専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6501	秋	体制移行経済研究	IRS576-66j00	2	安達 祐子		隔年開講、「体制移行経済専門研究」と合併、博士前期課程対象
MFIR6780	春	言語社会学研究1	IRS518-66j00	2	木村 護郎クリストフ		「言語社会学専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6790	秋	言語社会学研究2	IRS519-66j00	2	木村 護郎クリストフ		「言語社会学専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6840	春	環太平洋移民史研究1	IRS541-66m00	2	飯島 真里子	○	授業は日本語と英語で行う。「環太平洋移民史専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6850	秋	環太平洋移民史研究2	IRS542-66m00	2	飯島 真里子	○	授業は日本語と英語で行う。「環太平洋移民史専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6550	春	国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ)	IRS547-66j00	2	鈴木 一敏		「国際政治経済論専門研究1(政治学的アプローチ)」と合併、博士前期課程対象
MFIR6560	秋	国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ)	IRS548-66j00	2	鈴木 一敏		「国際政治経済論専門研究2(政治学的アプローチ)」と合併、博士前期課程対象
MFIR7020	春	地域統合研究1	IRS557-66m00	2	中内 政貴		授業は日本語と英語で行う。「地域統合専門研究1」と合併、博士前期課程対象、「EUの対外政策と国際協力」(国際協力学専攻)と合併
MFIR7030	秋	地域統合研究2	IRS558-66m00	2	中内 政貴		授業は日本語と英語で行う。「地域統合専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR7040	春	国際安全保障研究1	IRS525-66j00	2	齊藤 孝祐		「国際安全保障専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR7050	秋	国際安全保障研究2	IRS526-66j00	2	齊藤 孝祐		「国際安全保障専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR7190	休講	現代ロシア経済研究	IRS566-66j00	2			「現代ロシア経済専門研究」と合併、博士前期課程対象。旧「現代ロシア経済研究1・2」と同内容
MFIR7250	春	現代ロシア社会研究	IRS572-66j00	2	MUKHINA Varvara		「現代ロシア社会専門研究」と合併、博士前期課程対象
MFIR7180	休講	ユーラシア移民研究	IRS565-66m00	2		○	「ユーラシア移民専門研究」と合併、博士前期課程対象
MFIR7220	春	比較社会政策研究1	IRS5569-66j00	2	牧 陽子		「比較社会政策専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR7230	秋	比較社会政策研究2	IRS570-66j00	2	牧 陽子		「比較社会政策専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR7240	秋	境界研究1	IRS571-66j00	2	天野 尚樹		「境界専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR7260	休講	東アジア国際政治史	IRS573-66j00	2	五十嵐 陸幸		
MFIR9011	春	修士論文	IRS699-66j00	0	国際関係論専攻各指導教員		M2対象(9月修了対象)
MFIR9010	秋	修士論文	IRS699-66j00	0	国際関係論専攻各指導教員		M2対象

注1 クォーター科目のため、学期科目と授業期間が異なる。

4月の履修登録期間に「1」「2」両方の科目を履修登録すること。1Qの講義終了後、単位取得の可否を担当教員に確認し、修得できれば「2」に進み、修得できなかった場合は6月の「2Q科目追加履修登録期間」に「2」の科目を削除すること。

## 国際関係論専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	6		
↳ 選択科目			
↳ 博士後期課程演習科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される（履修要覧〔ガイド・資料編〕P.ガイド56参照） 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

### 【定められた手続きに関するスケジュール】

<毎年>

4月上旬	国際関係論専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
4月中旬	「博士後期課程指導教員仮届」提出
9月中旬～下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）

## 【博士論文資格試験受験⇒博士論文計画書提出⇒博士論文提出】

### ①博士論文資格試験科目選択計画書の提出（所定用紙：専攻事務室より受け取ること 提出先：専攻事務室）

- ・春学期（5月～6月）に受験する場合：前年度11/20迄
- ・秋学期（11月～12月）に受験する場合：当該年度5/20迄

※前もって各科目の担当教員の内諾を得ておくこと

※受験時期は、合格後9カ月以内の博士論文計画書の提出が可能であるか十分に考慮して申請すること



### ②博士論文資格試験受験5月/6月または11月/12月（筆記試験2科目・口述試験）



### ③博士論文計画書の提出（博士論文資格試験合格後9カ月以内に専攻事務室へ提出）



### ④博士論文予備審査申請書の提出

論文3部を添えて専攻事務室へ提出（所定用紙：専攻事務室より受け取ること）

予備審査は申請書提出後30～60日以内に行う。（審査期間は夏期休暇等長期休暇の日数は含めない。ただし、特に不都合が生じる場合には特別考慮する）

※博士論文予備審査に合格することが、博士論文提出のための要件となる



### ⑤博士論文審査願又は学位申請書及び関連書類一式\*の提出（学事センターへ提出）

課程博士・・・在学中の授与（または論文再入学制度での授与）

論文博士・・・満期退学後の授与

\*関連書類

- |                          |   |     |
|--------------------------|---|-----|
| 1. 論文目録                  | } | 各3部 |
| 2. 履歴書                   |   |     |
| 3. 論文要旨                  |   |     |
| 4. 論文（簡易製本）              |   |     |
| 5. インターネット公表確認書1部        |   |     |
| 6. 論文要約（インターネット非公開の場合のみ） |   |     |



### ⑥論文審査・論文要約審査・公開試問（試験日は試験担当教員と調整して決定）



### ⑦博士論文（製本）提出（学事センターへ）



### ⑧学位授与可否審議（審査員のみ）



### ⑨学位記授与（3月または9月）

※詳細については、「研究指導、博士論文資格試験、博士論文計画書および博士論文についての内規」を参照のこと。不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程等関連書類を熟読し、指導教員、専攻主任、専攻事務室などと相談すること。

## 【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、対象分野に関する新しい知見の発見、ないしは既存の知見に対する新しい解釈が提示されていること。
- 2) 先行研究が網羅的に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 論文の言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。
- 5) 論文の主要部分が学術雑誌などに出版されているか、あるいは掲載される水準であること。
- 6) 当該分野における独創的かつ先端的な研究であり、執筆者が自立的研究者として研究を遂行する能力があることを証明する研究であること。

## 2. 履修上の注意

- 1) 後期課程の学生は、研究指導科目の必要合格科目数が定められているため、「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」に従って履修すること。
- 2) 後期課程の学生は、博士後期課程演習科目から6単位以上を修得しなくてはならない。
- 3) 科目選択にあたっては指導教員と相談の上、決定することとする。
- 4) 後期課程の学生は、専攻事務室に指導教員の届出をしなければならない。
- 5) 後期課程の学生は、修了要件として休学期間を除く3年の在学が必要となる。在学中は指導教員の研究指導科目を毎学期履修しなければならない。
- 6) 後期課程の「博士論文計画書」及び「博士論文資格試験」については、「博士論文資格試験、博士論文計画書および博士論文についての内規」に定められている。
- 7) 2023年度以前に履修した科目を確認する場合は、2023年度以前の履修要覧を確認すること。
- 8) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、指導教員、専攻主任、専攻事務室などと相談すること。

## 3. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜国際政治・比較政治系＞			
対外政策専門研究1			2
対外政策専門研究2			2
比較政治学専門研究1			2
比較政治学専門研究2			2
現代ロシア政治専門研究			2
ロシア政治史専門研究			2
ヨーロッパ比較政治専門研究1			2
ヨーロッパ比較政治専門研究2			2
アメリカ政治外交専門研究1			2
アメリカ政治外交専門研究2			2
グローバル・ガバナンス論専門研究1			2
グローバル・ガバナンス論専門研究2			2
国際政治経済論専門研究1 (政治学的アプローチ)			2
国際政治経済論専門研究2 (政治学的アプローチ)			2
地域統合専門研究1			2
地域統合専門研究2			2
国際安全保障専門研究1			2
国際安全保障専門研究2			2
境界専門研究1			2
国際政治史専門研究1			2
国際政治史専門研究2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜国際社会・国際協力系＞			
開発経済学専門研究(理論と実証)1			2
開発経済学専門研究(理論と実証)2			2
国際社会学専門研究1(基礎)			2
国際社会学専門研究2(応用)			2
ADVANCED POLITICAL SOCIOLOGY 1 (THEORY)			2
ADVANCED POLITICAL SOCIOLOGY 2 (EMPIRICAL RESEARCH)			2
現代ロシア経済専門研究			2
体制移行経済専門研究			2
言語社会学専門研究1			2
言語社会学専門研究2			2
国際経済学専門研究1			2
国際経済学専門研究2			2
国際政治経済論専門研究1 (経済学的アプローチ)			2
国際政治経済論専門研究2 (経済学的アプローチ)			2
環太平洋移民史専門研究1			2
環太平洋移民史専門研究2			2
ユーラシア移民専門研究			2
比較社会政策専門研究1			2
比較社会政策専門研究2			2
現代ロシア社会専門研究			2
＜その他＞			
(他) ジョブ型研究インターンシップⅠ ※注1			2
(他) ジョブ型研究インターンシップⅡ ※注1			2

※注1：理工学研究科開講科目（ただし、自専攻科目扱い）  
上記注1科目の詳細については各専攻の履修要覧を確認すること。

## 4. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS899-66j00	下川 雅嗣	
	岸川 毅	
	稲葉 奈々子	
	湯浅 剛	
	河崎 健	
	高島 亮	
	安達 祐子	
	木村 護郎クリストフ	
	前嶋 和弘	
	小林 綾子	
	飯島 真里子	
	鈴木 一敏	
	中内 政貴	
	小島 真智子	
	齊藤 孝祐	
	WEISS Tobias	
	MUKHINA Varvara	
	牧 陽子	
	天野 尚樹	
李 承赫		

## 開講科目一覧表[国際関係論専攻博士後期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DFIR7000	休講	対外政策専門研究1	IRS802-66j00	2			「対外政策研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7010	休講	対外政策専門研究2	IRS803-66j00	2			「対外政策研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7020	休講	国際経済学専門研究1	IRS804-66j00	2			隔年開講、「国際経済学研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7030	休講	国際経済学専門研究2	IRS805-66j00	2			隔年開講、「国際経済学研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7040	春	国際政治経済論専門研究1(経済学的アプローチ)	IRS806-66j00	2	下川 雅嗣		隔年開講、「国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7050	秋	国際政治経済論専門研究2(経済学的アプローチ)	IRS807-66j00	2	下川 雅嗣		隔年開講、「国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7980	春	国際政治史専門研究1	IRS859-66j00	2	李 承赫		「国際政治史研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7990	秋	国際政治史専門研究2	IRS860-66j00	2	李 承赫		「国際政治史研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7920	春	ADVANCED POLITICAL SOCIOLOGY 1 (THEORY)	IRS853-66e00	2	WEISS Tobias	○	「POLITICAL SOCIOLOGY 1 (THEORY)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7930	秋	ADVANCED POLITICAL SOCIOLOGY 2 (EMPIRICAL RESEARCH)	IRS854-66e00	2	WEISS Tobias	○	「POLITICAL SOCIOLOGY 2 (EMPIRICAL RESEARCH)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7220	春	アメリカ政治外交専門研究1	IRS818-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7230	秋	アメリカ政治外交専門研究2	IRS819-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7820	春	グローバル・ガバナンスC14:C23論専門研究1	IRS820-66j00	2	小林 綾子		「グローバル・ガバナンス論研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7830	秋	グローバル・ガバナンス論専門研究2	IRS821-66j00	2	小林 綾子		「グローバル・ガバナンス論研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7940	春	開発経済学専門研究(理論と実証)1	IRS855-66j00	2	高島 亮		「開発経済学研究(理論と実証)1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7950	休講	開発経済学専門研究(理論と実証)2	IRS856-66j00	2			「開発経済学研究(理論と実証)2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7400	春	比較政治学専門研究1	IRS828-66j00	2	岸川 毅		「比較政治学研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7410	秋	比較政治学専門研究2	IRS829-66j00	2	岸川 毅		「比較政治学研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7420	春	国際社会学専門研究1(基礎)	IRS830-66j00	2	稲葉 奈々子		「国際社会学研究1(基礎)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7430	秋	国際社会学専門研究2(応用)	IRS831-66j00	2	稲葉 奈々子		「国際社会学研究2(応用)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7760	休講	現代ロシア政治専門研究	IRS865-66j00	2			隔年開講、「現代ロシア政治研究」と合併、博士後期課程対象
DFIR7780	春	ロシア政治史専門研究	IRS866-66j00	2	湯浅 剛		隔年開講、「ロシア政治史研究」と合併、博士後期課程対象
DFIR7520	休講	ヨーロッパ比較政治専門研究1	IRS836-66j00	2			「ヨーロッパ比較政治研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7530	休講	ヨーロッパ比較政治専門研究2	IRS801-66j00	2			「ヨーロッパ比較政治研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7570	秋	体制移行経済専門研究	IRS867-66j00	2	安達 祐子		隔年開講、「体制移行経済研究」と合併、博士後期課程対象
DFIR7580	春	言語社会学専門研究1	IRS841-66j00	2	木村 護郎クリストフ		「言語社会学研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7590	秋	言語社会学専門研究2	IRS842-66j00	2	木村 護郎クリストフ		「言語社会学研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7680	春	環太平洋移民史専門研究1	IRS845-66m00	2	飯島 真里子	○	授業は日本語と英語で行う、「環太平洋移民史研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7690	秋	環太平洋移民史専門研究2	IRS846-66m00	2	飯島 真里子	○	授業は日本語と英語で行う、「環太平洋移民史研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7720	春	国際政治経済論専門研究1(政治学的アプローチ)	IRS847-66j00	2	鈴木 一敏		「国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7730	秋	国際政治経済論専門研究2(政治学的アプローチ)	IRS848-66j00	2	鈴木 一敏		「国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7860	春	地域統合専門研究1	IRS851-66m00	2	中内 政貴		授業は日本語と英語で行う、「地域統合研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7870	秋	地域統合専門研究2	IRS852-66m00	2	中内 政貴		授業は日本語と英語で行う、「地域統合研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7880	春	国際安全保障専門研究1	IRS843-66j00	2	齊藤 孝祐		「国際安全保障研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7890	秋	国際安全保障専門研究2	IRS844-66j00	2	齊藤 孝祐		「国際安全保障研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7970	休講	現代ロシア経済専門研究	IRS858-66j00	2			「現代ロシア経済研究」と合併、博士後期課程対象。旧「現代ロシア経済専門研究1・2」と同内容
DFIR8030	春	現代ロシア社会専門研究	IRS864-66j00	2	MUKHINA Varvara		「現代ロシア社会研究」と合併、博士後期課程対象
DFIR7960	休講	ユーラシア移民専門研究	IRS857-66m00	2		○	「ユーラシア移民研究」と合併、博士後期課程対象
DFIR8000	春	比較社会政策専門研究1	IRS861-66j00	2	牧 陽子		「比較社会政策研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR8010	秋	比較社会政策専門研究2	IRS862-66j00	2	牧 陽子		「比較社会政策研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR8020	秋	境界専門研究1	IRS863-66j00	2	天野 尚樹		「境界研究1」と合併、博士後期課程対象
DSCT8000	春	ジョブ型研究インターンシップ I	SCT808-75j00	2	理工学研究科委員長		開講元は理工学研究科、ただし専攻扱い、博士後期課程対象
DSCT8100	秋	ジョブ型研究インターンシップ II	SCT808-75j00	2	理工学研究科委員長		開講元は理工学研究科、ただし専攻扱い、博士後期課程対象

## 地域研究専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	注意点等
総単位数	30		
・必修科目	6		必修科目は在学中（1、2年次）に必ず単位を修得しなければならない。1年次に3科目中2科目以上履修することが望ましい。
└地域研究方法論	2		
└地域調査方法論	2		
└生態人類学	2		
・選択科目	24		
└自専攻科目			上限単位数なし
└（A）履修群：選択科目			上限単位数なし
└（B）履修群：地域研究専門科目	12		全科目重複履修可。 年次により到達目標が異なる。
└（C）履修群：地域間比較科目	6		
└自研究科他専攻科目			上限単位数なし
└他研究科科目			認定手続により、8単位まで修了に必要な単位として認める。
└委託聴講科目			国際連合大学サステナビリティ高等研究所の講座を4単位まで修了に必要な単位として認める。
分野横断型科目			他の「他研究科科目」とあわせて合計8単位まで修了に必要な選択科目の単位として認める。
研究指導（必修）		4	単位換算なし。在学中は指導教員担当の研究指導を毎学期履修し、計4科目（4回）以上合格すること。※注
修士論文			論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること

※注 履修要覧【ガイド・資料編】p.ガイド 56 参照

### 2. 履修上の注意

- 指導教員の決定：専攻主任と相談の上、本学地域研究専攻担当専任教員の中から、修士論文の指導教員を1名決定すること。指導教員の地域研究専門科目を在学期間中の各学期に履修し、単位を修得しなければならない。指導教員が、教員特別研修等により「研究指導」を行わない場合に限り、代わりに指導教員を設けて「研究指導」を行う。
- 修了要件：①30 単位以上の科目単位修得と、②研究指導を受けた上で、修士論文の審査ならびに口述試験に合格すること。1年次に20 単位以上を修得することが望ましい。
- 修了に必要な単位数：（B）履修群：地域研究専門科目から12 単位以上、（C）履修群：地域間比較科目から6 単位以上を修得しなくてはならない。上記以外の科目の選択は自由だが、指導教員と相談の上、選択すること。
- 2022 年度から新たに開設された分野横断型科目「分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講 2026 年度秋学期金曜日 5 時限 2 単位科目）により修得した単位を、自専攻の修了に必要な単位として算入する（修了単位への認定）には、履修登録時に手続きが必要である。  
2026 年度履修要覧【ガイド・資料編】p.ガイド 37 を参照のうえ、手続きを行うこと。  
定員 30 名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、2026 年度履修要覧【ガイド・資料編】p.ガイド 33～34 を参照すること。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。  
なお、評価には P（合格）・X（不合格）を使用する。
- その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻主任と相談すること。

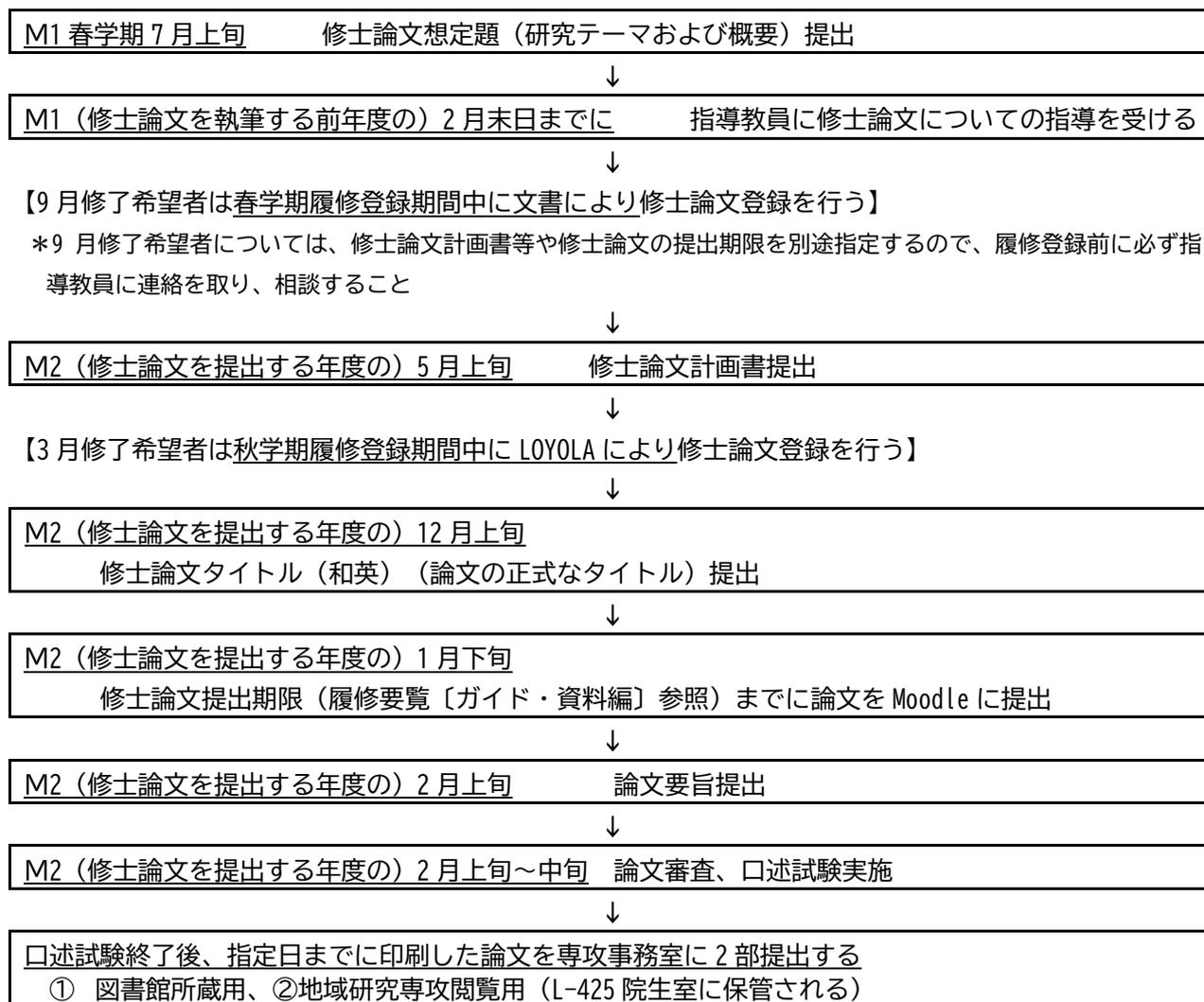
## 【修士論文審査基準】

提出された修士論文はディプロマ・ポリシーの中で述べられている能力と整合性をもつ、以下の評価基準に沿って審査される。

1. 研究対象に対して適切な方法論及び先行研究成果を踏まえていること。
2. グローバルな諸現象の解明に貢献する水準に達していること。
3. 地域に立脚した視座を有し、かつ社会的・学術的な意義が認められること。
4. 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
5. 出典記載や引用が適切になされているなど、論文の体裁が整っていること。

## 【地域研究専攻 博士前期課程における修士論文】

\* 提出物の書式や提出期限等概要は履修要覧、Loyola、My Sophia、地域研究専攻ハンドブックを参照し、メールによる連絡にも充分注意を払うこと



## 3. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< (A) 履修群：基礎科目 >			
地域研究方法論	2		
地域調査方法論	2		
生態人類学	2		
フィールドワーク1			1
フィールドワーク2			1
< (B) 履修群：地域研究専門科目 >			
東アジア社会文化研究1			2
東アジア社会文化研究2			2
東南アジア国際協力研究1			2
東南アジア国際協力研究2			2
東南アジア宗教文化研究1			2
東南アジア宗教文化研究2			2
東南アジア社会文化研究1			2
東南アジア社会文化研究2			2
南アジア社会政治研究1			2
南アジア社会政治研究2			2
南アジアジェンダー研究1			2
南アジアジェンダー研究2			2
中東文化研究1			2
中東文化研究2			2
中東社会開発研究1			2
中東社会開発研究2			2
中東政治社会研究1			2
中東政治社会研究2			2
中東ジェンダー研究1			2
中東ジェンダー研究2			2
中東政治史研究1			2
中東政治史研究2			2
アフリカ政治社会研究1			2
アフリカ政治社会研究2			2
アフリカ社会文化研究1			2
アフリカ社会文化研究2			2
アフリカ政治・ディアスポラ研究1			2
アフリカ政治・ディアスポラ研究2			2
ヨーロッパ美術史研究1			2
ヨーロッパ美術史研究2			2
ヨーロッパポップカルチャー研究1			2
ヨーロッパポップカルチャー研究2			2
ヨーロッパ史研究（フランス語圏）1			2
ヨーロッパ史研究（フランス語圏）2			2
ヨーロッパ史研究（イスパニア語圏）1			2
ヨーロッパ史研究（イスパニア語圏）2			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ヨーロッパ政治・社会研究（フランス語圏）1			2
ヨーロッパ政治・社会研究（フランス語圏）2			2
イスパニア語圏の法・社会研究1			2
イスパニア語圏の法・社会研究2			2
ラテンアメリカ社会研究1			2
ラテンアメリカ社会研究2			2
ラテンアメリカ国際関係研究1			2
ラテンアメリカ国際関係研究2			2
ラテンアメリカ社会開発研究1			2
ラテンアメリカ社会開発研究2			2
ラテンアメリカ経済研究1			2
ラテンアメリカ経済研究2			2

< (C) 履修群：地域間比較科目 >			
地域からみたグローバリゼーション			2
国際関係研究：中東			2
国際協力基礎研究			2
グローバル・ヒストリー			2
国際協力特講（ジェンダーと平和）			2
国際開発協力研究：東南アジア			2
国際開発協力研究：中東			2
国際開発協力研究：ラテンアメリカ			2
(他) 開発経済学研究（理論と実証）1 ※注1			2
(他) 開発経済学研究（理論と実証）2 ※注1			2
(他) 比較政治学研究1 ※注1			2
(他) 比較政治学研究2 ※注1			2
(他) 国際経済学研究1 ※注1			2
(他) 国際経済学研究2 ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究1 （経済学的アプローチ） ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究2 （経済学的アプローチ） ※注1			2
(他) 比較社会政策研究1 ※注1			2
(他) 比較社会政策研究2 ※注1			2
(他) <西洋史学> 中世演習Ⅰ ※注2			2
(他) <西洋史学> 中世演習Ⅱ ※注2			2
(他) <西洋史学> 近世演習Ⅰ ※注2			2
(他) <西洋史学> 近世演習Ⅱ ※注2			2
(他) <西洋史学> 近・現代演習Ⅰ ※注2			2
(他) <西洋史学> 近・現代演習Ⅱ ※注2			2

※注1：国際関係論専攻開講科目

※注2：文学研究科史学専攻開講科目

※(他)：他専攻開講科目

## 4. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS599-67j00	赤堀 雅幸	
	AUGUSTINE Sali	
	岩崎 えり奈	
	内村 俊太	
	権 香淑	
	久志本 裕子	
	子安 昭子	
	澤江 史子	
	高橋 暁生	
	田中 雅子	
	谷 洋之	
	田村 梨花	
	辻上 奈美江	
	戸田 美佳子	
	NEVES Mauro	
	幡谷 則子	
	福武 慎太郎	
	眞城 百華	
	松原 典子	
	丸井 雅子	
矢澤 達宏		
山口 昭彦		
SERVERIN Simon		
ALAS MORENO Nancy		

## 開講科目一覧表[地域研究専攻博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
<b>(A) 履修群: 基礎科目</b>							
MFAS1010	春	地域研究方法論	ARS508-67J00	2	コ) 辻上 奈美江		(A) 輪講
MFAS1020	秋	地域調査方法論	ARS509-67J00	2	コ) 眞城 百華		(A) 輪講
MFAS1030	秋	生態人類学	ARS507-67J00	2	*大石 高典		(A)
MFAS7995	春	フィールドワーク1	ARS503-67J00	1	丸井 雅子、谷 洋之、澤江 史子		(A) 博士前期課程「フィールドワーク2」(春学期開講)と合併
MFAS7996	秋	フィールドワーク2	ARS504-67J00	1	丸井 雅子、谷 洋之、澤江 史子		(A) 博士前期課程「フィールドワーク1」(秋学期開講)と合併
MFAS8010	秋	フィールドワーク1	ARS503-67J00	1	丸井 雅子、谷 洋之、澤江 史子		(A) 博士前期課程「フィールドワーク2」(秋学期開講)と合併
MFAS8011	春	フィールドワーク2	ARS504-67J00	1	丸井 雅子、谷 洋之、澤江 史子		(A) 博士前期課程「フィールドワーク1」(春学期開講)と合併
※注:「フィールドワーク1」「フィールドワーク2」は、履修年次は問わないが、連続する2学期において履修することが望ましい。 (1、2とも春・秋両学期開講だが、1を修得しなければ2を履修できない段階履修となっている。)							
<b>(B) 履修群: 地域研究専門科目</b>							
MFAS8006	休講	東アジア社会文化研究1	ASA517-67J00	2			(B) 博士後期課程「東アジア社会文化研究(上級)1」と合併
MFAS8007	秋	東アジア社会文化研究2	ASA518-67J00	2	権 香淑		(B) 博士後期課程「東アジア社会文化研究(上級)2」と合併
MFAS7040	春	東南アジア社会文化研究1	ASA505-67J00	2	丸井 雅子		(B) 博士後期課程「東南アジア社会文化研究(上級)1」と合併
MFAS7050	秋	東南アジア社会文化研究2	ASA506-67J00	2	丸井 雅子		(B) 博士後期課程「東南アジア社会文化研究(上級)2」と合併
MFAS7081	春	東南アジア国際協力研究1	ASA503-67J00	2	福武 慎太郎		(B) 博士後期課程「東南アジア国際協力研究(上級)1」と合併
MFAS7091	秋	東南アジア国際協力研究2	ASA504-67J00	2	福武 慎太郎		(B) 博士後期課程「東南アジア国際協力研究(上級)2」と合併
MFAS7260	春	東南アジア宗教文化研究1	ASA507-67J00	2	久志本 裕子		(B) 博士後期課程「東南アジア宗教文化研究(上級)1」と合併
MFAS7270	休講	東南アジア宗教文化研究2	ASA508-67J00	2			(B) 博士後期課程「東南アジア宗教文化研究(上級)2」と合併
MFAS7300	春	南アジア社会政治研究1	ASA515-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	(B) 博士後期課程「南アジア社会政治研究(上級)1」と合併
MFAS7310	秋	南アジア社会政治研究2	ASA516-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	(B) 博士後期課程「南アジア社会政治研究(上級)2」と合併
MFAS8012	春	南アジアジェンダー研究1	ASA519-67J00	2	田中 雅子		(B) 博士後期課程「南アジアジェンダー研究(上級)1」と合併
MFAS8013	秋	南アジアジェンダー研究2	ASA520-67J00	2	田中 雅子		(B) 博士後期課程「南アジアジェンダー研究(上級)2」と合併
MFAS7120	春	中東社会開発研究1	AME503-67J00	2	岩崎 えり奈		(B) 博士後期課程「中東社会開発研究(上級)1」と合併
MFAS7130	秋	中東社会開発研究2	AME504-67J00	2	岩崎 えり奈		(B) 博士後期課程「中東社会開発研究(上級)2」と合併
MFAS8014	春	中東ジェンダー研究1	AME513-67J00	2	辻上 奈美江		(B) 博士後期課程「中東ジェンダー研究(上級)1」と合併
MFAS8015	秋	中東ジェンダー研究2	AME514-67J00	2	辻上 奈美江		(B) 博士後期課程「中東ジェンダー研究(上級)2」と合併
MFAS7360	春	中東政治史研究1	AME507-67J00	2	山口 昭彦		(B) 博士後期課程「中東政治史研究(上級)1」と合併
MFAS7370	休講	中東政治史研究2	AME508-67J00	2			(B) 博士後期課程「中東政治史研究(上級)2」と合併
MFAS7400	春	中東文化研究1	AME511-67J00	2	赤堀 雅幸		(B) 博士後期課程「中東文化研究(上級)1」と合併
MFAS7410	秋	中東文化研究2	AME512-67J00	2	赤堀 雅幸		(B) 博士後期課程「中東文化研究(上級)2」と合併
MFAS7530	春	中東政治社会研究1	AME509-67J00	2	澤江 史子		(B) 博士後期課程「中東政治社会研究(上級)1」と合併
MFAS7540	秋	中東政治社会研究2	AME510-67J00	2	澤江 史子		(B) 博士後期課程「中東政治社会研究(上級)2」と合併
MFAS8016	春	アフリカ政治・ディアスポラ研究1	AAF507-67J00	2	矢澤 達宏		(B) 博士後期課程「アフリカ政治・ディアスポラ研究(上級)1」と合併
MFAS8017	秋	アフリカ政治・ディアスポラ研究2	AAF508-67J00	2	矢澤 達宏		(B) 博士後期課程「アフリカ政治・ディアスポラ研究(上級)2」と合併
MFAS7993	春	アフリカ政治社会研究1	AAF503-67J00	2	眞城 百華		(B) 博士後期課程「アフリカ政治社会研究(上級)1」と合併
MFAS7994	秋	アフリカ政治社会研究2	AAF504-67J00	2	眞城 百華		(B) 博士後期課程「アフリカ政治社会研究(上級)2」と合併
MFAS8002	休講	アフリカ社会文化研究1	AAF505-67J00	2			(B) 博士後期課程「アフリカ社会文化研究(上級)1」と合併
MFAS8003	秋	アフリカ社会文化研究2	AAF506-67J00	2	戸田 美佳子		(B) 博士後期課程「アフリカ社会文化研究(上級)2」と合併
MFAS8018	休講	ヨーロッパ美術史研究1	AEU511-67J00	2			(B) 博士後期課程「ヨーロッパ美術史研究(上級)1」と合併
MFAS8019	休講	ヨーロッパ美術史研究2	AEU512-67J00	2			(B) 博士後期課程「ヨーロッパ美術史研究(上級)2」と合併
MFAS8020	春	ヨーロッパ史研究(フランス語圏)1	AEU513-67J00	2	高橋 暁生		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ史研究(フランス語圏)(上級)1」と合併
MFAS8021	秋	ヨーロッパ史研究(フランス語圏)2	AEU514-67J00	2	高橋 暁生		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ史研究(フランス語圏)(上級)2」と合併
MFAS8022	春	ヨーロッパ史研究(イスパニア語圏)1	AEU515-67J00	2	内村 俊太		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ史研究(イスパニア語圏)(上級)1」と合併
MFAS8023	秋	ヨーロッパ史研究(イスパニア語圏)2	AEU516-67J00	2	内村 俊太		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ史研究(イスパニア語圏)(上級)2」と合併
MFAS8004	春	ヨーロッパポップカルチャー研究1	AEU507-67J00	2	NEVES Mauro		(B) 博士後期課程「ヨーロッパポップカルチャー研究(上級)1」と合併
MFAS8005	秋	ヨーロッパポップカルチャー研究2	AEU508-67J00	2	NEVES Mauro		(B) 博士後期課程「ヨーロッパポップカルチャー研究(上級)2」と合併
MFAS7450	休講	ラテンアメリカ社会開発研究1	ALA505-67J00	2			(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会開発研究(上級)1」と合併
MFAS7460	休講	ラテンアメリカ社会開発研究2	ALA506-67J00	2			(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会開発研究(上級)2」と合併

## 開講科目一覧表[地域研究専攻博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MFAS7490	春	ラテンアメリカ国際関係研究1	ALA503-67J00	2	子安 昭子		(B)博士後期課程「ラテンアメリカ国際関係研究(上級)1」と合併
MFAS7500	秋	ラテンアメリカ国際関係研究2	ALA504-67J00	2	子安 昭子		(B)博士後期課程「ラテンアメリカ国際関係研究(上級)2」と合併
MFAS7570	春	ラテンアメリカ社会研究1	ALA507-67J00	2	幡谷 則子		(B)博士後期課程「ラテンアメリカ社会研究(上級)1」と合併
MFAS7580	秋	ラテンアメリカ社会研究2	ALA508-67J00	2	幡谷 則子		(B)博士後期課程「ラテンアメリカ社会研究(上級)2」と合併
MFAS7650	春	ラテンアメリカ経済研究1	ALA501-67J00	2	谷 洋之		(B)博士後期課程「ラテンアメリカ経済研究(上級)1」と合併
MFAS7660	秋	ラテンアメリカ経済研究2	ALA502-67J00	2	谷 洋之		(B)博士後期課程「ラテンアメリカ経済研究(上級)2」と合併
MFAS8026	春	イスパニア語圏の法・社会研究1	ALA517-67J00	2	ALAS MORENO Nancy		(B)博士後期課程「イスパニア語圏の法・社会研究(上級)1」と合併
MFAS8027	秋	イスパニア語圏の法・社会研究2	ALA518-67J00	2	ALAS MORENO Nancy		(B)博士後期課程「イスパニア語圏の法・社会研究(上級)2」と合併
MFAS8024	春	ヨーロッパ政治・社会研究(フランス語圏)1	AEU517-67J00	2	SERVERIN Simon		ヨーロッパ政治・社会研究(フランス語圏)(上級)1と合併
MFAS8025	秋	ヨーロッパ政治・社会研究(フランス語圏)2	AEU518-67J00	2	SERVERIN Simon		ヨーロッパ政治・社会研究(フランス語圏)(上級)2と合併
<b>(C) 履修群：地域間比較科目</b>							
MFAS7997	春	地域からみたグローバルバージョン	ARS510-67J00	2	コ)矢澤 達宏		(C) 輪講
MFAS7998	秋	国際協力基礎研究	ARS511-67J00	2	福武 慎太郎		(C)
MFAS7999	秋	グローバル・ヒストリー	ARS513-67J00	2	*石橋 悠人		(C)
MFAS8001	秋	国際協力特講(ジェンダーと平和)	ARS521-67J00	2	*秋林 こずえ		(C)
MFAS8000	秋	国際開発協力研究:東南アジア	ASA513-67J00	2	*長瀬 理英		(C)
MFAS7760	春	国際開発協力研究:中東	AME501-67J00	2	*佐藤 寛		(C)
MFAS7770	春	国際開発協力研究:ラテンアメリカ	ALA511-67J00	2	*愛田 宏之		(C)
MFAS7440	秋	国際関係研究:中東	AME502-67J00	2	*臼杵 陽		(C)
		(他)開発経済学研究(理論と実証)1		2			(C)※注3
		(他)開発経済学研究(理論と実証)2		2			(C)※注3
		(他)比較政治学研究1		2			(C)※注3
		(他)比較政治学研究2		2			(C)※注3
		(他)国際経済学研究1		2			(C)※注3
		(他)国際経済学研究2		2			(C)※注3
		(他)国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ)		2			(C)※注3
		(他)国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ)		2			(C)※注3
		(他)比較社会政策研究1		2			(C)※注3
		(他)比較社会政策研究2		2			(C)※注3
		(他)＜西洋史学＞中世演習Ⅰ		2			(C)※注4
		(他)＜西洋史学＞中世演習Ⅱ		2			(C)※注4
		(他)＜西洋史学＞近世演習Ⅰ		2			(C)※注4
		(他)＜西洋史学＞近世演習Ⅱ		2			(C)※注4
		(他)＜西洋史学＞近・現代演習Ⅰ		2			(C)※注4
		(他)＜西洋史学＞近・現代演習Ⅱ		2			(C)※注4
<b>その他</b>							
MFAS9010	秋	修士論文	ARS699-67J00	0	地域研究専攻各指導教員		
MFAS9020	春	修士論文	ARS699-67J00	0	地域研究専攻各指導教員		

注1:備考欄の(A)(B)(C)は履修群を示す。

注2:担当教員名欄のコ)はコーディネータを示す。

注3:国際関係論専攻開講科目

注4:文学研究科史学専攻開講科目

上記注3、4科目の詳細については各専攻の履修要覧を確認すること

## 地域研究専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	注意点等
総単位数	6		
・選択科目			
└博士後期課程科目	6		
研究指導（必修）		6	単位換算なし。在学中は指導教員担当の研究指導を毎学期履修し、計6科目（6回）以上合格すること。※注
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

※注 履修要覧〔ガイド・資料編〕p. ガイド 56 参照

### 2. 履修上の注意

1. **指導教員の決定**：専攻主任と相談の上、本学地域研究専攻担当専任教員の中から、博士論文の指導教員1名と副指導教員1名を決定すること。
2. **修了要件**：①上記「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」に従って履修し、②研究指導を受けた上で、博士論文提出資格試験に合格、定められた手続きにより博士論文を提出し、審査および試験に合格すること。
3. **修了に必要な単位数**：指導教員の博士後期課程科目を含めて、博士後期課程科目から6単位以上を修得しなくてはならない。
4. **研究指導**：在学期間中の6学期間、指導教員担当の研究指導を履修しなくてはならない。ただし、大学院学則第4章第21条の2の規程に基づき、在学期間の短縮を認められた者に関しては、短縮された在学期間中のみ、指導教員の研究指導を履修すればよいものとする。
5. その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻主任と相談すること。

## 【博士論文審査基準】

提出された博士論文はディプロマ・ポリシーの中で述べられている能力と整合性をもつ、以下の評価基準に沿って審査される。

1. 学術的独創性が認められ、地域研究の学問分野において方法論・調査方法上の貢献につながる水準に達していること。
2. 研究対象地域の言語を駆使した調査・研究に基づき、新たな知見によって社会的・学術的な意義が認められること。
3. 先行研究と自身の研究課題との関係が、学界での十分な議論を経て検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
4. 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
5. 論文の体裁が整っていること。
6. 地域研究に必要とされる、研究対象及び地域に対する研究活動規範即ちコンプライアンスが遵守されていること。

## 【地域研究専攻 博士後期課程における博士の学位・博士論文について】

\* 提出物の書式や提出期限等概要は履修要覧、Loyola、My Sophia、地域研究専攻ハンドブックを参照し、メールによる連絡にも充分注意を払うこと

D2以上（受験資格は原則として博士後期課程に1年以上在籍していること）

ただし、以下の①は休学中も可能であるが、②と③は在学中のみ認められる

\* 受験の6か月以上前に（受験年度前年の11月末日あるいは受験年度の5月末日までに）

①博士論文提出資格試験受験申請書（課題論文と口述試験・外国語試験）提出



博士論文提出資格試験論文課題（地域・学問分野）提示後1ヶ月以内に

②2科目の課題論文（地域・学問分野）提出



③博士論文提出資格試験（課題論文と口述試験・外国語試験）実施

\* 原則として5月と11月の年2回実施する



博士論文提出資格試験合格後、

④博士論文計画書提出及び⑤計画セミナーの開催を経て、⑥事前審査を受ける

指導教員と相談の上で④～⑥それぞれの時期を決めること

\* 博士論文計画書提出及び計画セミナー開催時期は、資格試験合格後からの期限を設けず在籍・在学中というしほりも設けない



\* 博士論文計画書を受理すると判定された者は博士論文を提出することができる



博士の学位授与を申請しようとする者は、博士学位申請の手続きに入る半年前（\*1）に

学位論文を指導教員に提出し、事前審査（\*2）を受ける

\*1：学位授与希望日の1年前

\*2：事前審査とは、博士学位申請手続き半年前に学位論文を指導教員へ提出する審査プロセスのこと



博士の学位授与を申請しようとする者は、課程を修了する年度の9月末日以前に

博士学位申請の手続き（論文を含む関連書類を学事センターに提出）を完了する

\* 学位規程第5条による学位申請の場合、その期限は原則として毎年3月末および9月末とする



博士論文審査委員会の開催（2回以上）、公開試験実施

## 3. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
東アジア社会文化研究（上級）1			2
東アジア社会文化研究（上級）2			2
東南アジア国際協力研究（上級）1			2
東南アジア国際協力研究（上級）2			2
東南アジア宗教文化研究（上級）1			2
東南アジア宗教文化研究（上級）2			2
東南アジア社会文化研究（上級）1			2
東南アジア社会文化研究（上級）2			2
南アジア社会政治研究（上級）1			2
南アジア社会政治研究（上級）2			2
南アジアジェンダー研究（上級）1			2
南アジアジェンダー研究（上級）2			2
中東文化研究（上級）1			2
中東文化研究（上級）2			2
中東社会開発研究（上級）1			2
中東社会開発研究（上級）2			2
中東政治社会研究（上級）1			2
中東政治社会研究（上級）2			2
中東ジェンダー研究（上級）1			2
中東ジェンダー研究（上級）2			2
中東政治史研究（上級）1			2
中東政治史研究（上級）2			2
アフリカ政治社会研究（上級）1			2
アフリカ政治社会研究（上級）2			2
アフリカ社会文化研究（上級）1			2
アフリカ社会文化研究（上級）2			2
アフリカ政治・ディアスポラ研究（上級）1			2
アフリカ政治・ディアスポラ研究（上級）2			2
ヨーロッパ美術史研究（上級）1			2
ヨーロッパ美術史研究（上級）2			2
ヨーロッパポップカルチャー研究（上級）1			2
ヨーロッパポップカルチャー研究（上級）2			2
ヨーロッパ史研究（フランス語圏）研究（上級）1			2
ヨーロッパ史研究（フランス語圏）研究（上級）2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ヨーロッパ史研究（イスパニア語圏）研究（上級）1			2
ヨーロッパ史研究（イスパニア語圏）研究（上級）2			2
ヨーロッパ政治・社会研究（フランス語圏）（上級）1			2
ヨーロッパ政治・社会研究（フランス語圏）（上級）2			2
イスパニア語圏の法・社会研究（上級）1			2
イスパニア語圏の法・社会研究（上級）2			2
ラテンアメリカ社会研究（上級）1			2
ラテンアメリカ社会研究（上級）2			2
ラテンアメリカ国際関係研究（上級）1			2
ラテンアメリカ国際関係研究（上級）2			2
ラテンアメリカ社会開発研究（上級）1			2
ラテンアメリカ社会開発研究（上級）2			2
ラテンアメリカ経済研究（上級）1			2
ラテンアメリカ経済研究（上級）2			2

## 4. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS899-67j00	赤堀 雅幸	
	AUGUSTINE Sali	
	岩崎 えり奈	
	内村 俊太	
	権 香淑	
	久志本 裕子	
	子安 昭子	
	澤江 史子	
	高橋 暁生	
	田中 雅子	
	谷 洋之	
	田村 梨花	
	辻上 奈美江	
	戸田 美佳子	
	NEVES Mauro	
	幡谷 則子	
	福武 慎太郎	
	眞城 百華	
	松原 典子	
	丸井 雅子	
	矢澤 達宏	
	山口 昭彦	
SERVERIN Simon		
ALAS MORENO Nancy		

## 開講科目一覧表[地域研究専攻博士後期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
<b>博士後期課程演習科目</b>							
DFAS7520	休講	東アジア社会文化研究(上級)1	ASA815-67J00	2			博士前期課程「東アジア社会文化研究1」と合併
DFAS7530	秋	東アジア社会文化研究(上級)2	ASA816-67J00	2	権 香淑		博士前期課程「東アジア社会文化研究2」と合併
DFAS7000	春	東南アジア社会文化研究(上級)1	ASA805-67J00	2	丸井 雅子		博士前期課程「東南アジア社会文化研究1」と合併
DFAS7010	秋	東南アジア社会文化研究(上級)2	ASA806-67J00	2	丸井 雅子		博士前期課程「東南アジア社会文化研究2」と合併
DFAS7020	春	東南アジア国際協力研究(上級)1	ASA807-67J00	2	福武 慎太郎		博士前期課程「東南アジア国際協力研究1」と合併
DFAS7030	秋	東南アジア国際協力研究(上級)2	ASA808-67J00	2	福武 慎太郎		博士前期課程「東南アジア国際協力研究2」と合併
DFAS7460	春	東南アジア宗教文化研究(上級)1	ASA809-67J00	2	久志本 裕子		博士前期課程「東南アジア宗教文化研究1」と合併
DFAS7470	休講	東南アジア宗教文化研究(上級)2	ASA810-67J00	2			博士前期課程「東南アジア宗教文化研究2」と合併
DFAS7420	春	南アジア社会政治研究(上級)1	ASA801-67E00	2	AUGUSTINE Sali	○	博士前期課程「南アジア社会政治研究1」と合併
DFAS7430	秋	南アジア社会政治研究(上級)2	ASA802-67E00	2	AUGUSTINE Sali	○	博士前期課程「南アジア社会政治研究2」と合併
DFAS7560	春	南アジアジェンダー研究(上級)1	ASA817-67J00	2	田中 雅子		博士前期課程「南アジアジェンダー研究1」と合併
DFAS7570	秋	南アジアジェンダー研究(上級)2	ASA818-67J00	2	田中 雅子		博士前期課程「南アジアジェンダー研究2」と合併
DFAS7180	春	中東社会開発研究(上級)1	AME801-67J00	2	岩崎 えり奈		博士前期課程「中東社会開発研究1」と合併
DFAS7190	秋	中東社会開発研究(上級)2	AME802-67J00	2	岩崎 えり奈		博士前期課程「中東社会開発研究2」と合併
DFAS7580	春	中東ジェンダー研究(上級)1	AME811-67J00	2	辻上 奈美江		博士前期課程「中東ジェンダー研究1」と合併
DFAS7590	秋	中東ジェンダー研究(上級)2	AME812-67J00	2	辻上 奈美江		博士前期課程「中東ジェンダー研究2」と合併
DFAS7140	春	中東政治史研究(上級)1	AME805-67J00	2	山口 昭彦		博士前期課程「中東政治史研究1」と合併
DFAS7150	休講	中東政治史研究(上級)2	AME806-67J00	2			博士前期課程「中東政治史研究2」と合併
DFAS7160	春	中東文化研究(上級)1	AME807-67J00	2	赤堀 雅幸		博士前期課程「中東文化研究1」と合併
DFAS7170	秋	中東文化研究(上級)2	AME808-67J00	2	赤堀 雅幸		博士前期課程「中東文化研究2」と合併
DFAS7200	春	中東政治社会研究(上級)1	AME809-67J00	2	澤江 史子		博士前期課程「中東政治社会研究1」と合併
DFAS7210	秋	中東政治社会研究(上級)2	AME810-67J00	2	澤江 史子		博士前期課程「中東政治社会研究2」と合併
DFAS7600	春	アフリカ政治・ディアスポラ研究(上級)1	AAF807-67J00	2	矢澤 達宏		博士前期課程「アフリカ政治・ディアスポラ研究1」と合併
DFAS7610	秋	アフリカ政治・ディアスポラ研究(上級)2	AAF808-67J00	2	矢澤 達宏		博士前期課程「アフリカ政治・ディアスポラ研究2」と合併
DFAS7400	春	アフリカ政治社会研究(上級)1	AAF803-67J00	2	眞城 百華		博士前期課程「アフリカ政治社会研究1」と合併
DFAS7410	秋	アフリカ政治社会研究(上級)2	AAF804-67J00	2	眞城 百華		博士前期課程「アフリカ政治社会研究2」と合併
DFAS7480	休講	アフリカ社会文化研究(上級)1	AAF805-67J00	2			博士前期課程「アフリカ社会文化研究1」と合併
DFAS7490	秋	アフリカ社会文化研究(上級)2	AAF806-67J00	2	戸田 美佳子		博士前期課程「アフリカ社会文化研究2」と合併
DFAS7620	休講	ヨーロッパ美術史研究(上級)1	AEU811-67J00	2			博士前期課程「ヨーロッパ美術史研究1」と合併
DFAS7630	休講	ヨーロッパ美術史研究(上級)2	AEU812-67J00	2			博士前期課程「ヨーロッパ美術史研究2」と合併
DFAS7640	春	ヨーロッパ史研究(フランス語圏)(上級)1	AEU813-67J00	2	高橋 暁生		博士前期課程「ヨーロッパ史研究(フランス語圏)1」と合併
DFAS7650	秋	ヨーロッパ史研究(フランス語圏)(上級)2	AEU814-67J00	2	高橋 暁生		博士前期課程「ヨーロッパ史研究(フランス語圏)2」と合併
DFAS7660	春	ヨーロッパ史研究(イスパニア語圏)(上級)1	AEU815-67J00	2	内村 俊太		博士前期課程「ヨーロッパ史研究(イスパニア語圏)1」と合併
DFAS7670	秋	ヨーロッパ史研究(イスパニア語圏)(上級)2	AEU816-67J00	2	内村 俊太		博士前期課程「ヨーロッパ史研究(イスパニア語圏)2」と合併
DFAS7500	春	ヨーロッパポップカルチャー研究(上級)1	AEU807-67J00	2	NEVES Mauro		博士前期課程「ヨーロッパポップカルチャー研究1」と合併
DFAS7510	秋	ヨーロッパポップカルチャー研究(上級)2	AEU808-67J00	2	NEVES Mauro		博士前期課程「ヨーロッパポップカルチャー研究2」と合併
DFAS7260	春	ラテンアメリカ社会研究(上級)1	ALA805-67J00	2	幡谷 則子		博士前期課程「ラテンアメリカ社会研究1」と合併
DFAS7270	秋	ラテンアメリカ社会研究(上級)2	ALA806-67J00	2	幡谷 則子		博士前期課程「ラテンアメリカ社会研究2」と合併
DFAS7220	春	ラテンアメリカ国際関係研究(上級)1	ALA803-67J00	2	子安 昭子		博士前期課程「ラテンアメリカ国際関係研究1」と合併
DFAS7230	秋	ラテンアメリカ国際関係研究(上級)2	ALA804-67J00	2	子安 昭子		博士前期課程「ラテンアメリカ国際関係研究2」と合併
DFAS7240	休講	ラテンアメリカ社会開発研究(上級)1	ALA801-67J00	2			博士前期課程「ラテンアメリカ社会開発研究1」と合併
DFAS7250	休講	ラテンアメリカ社会開発研究(上級)2	ALA802-67J00	2			博士前期課程「ラテンアメリカ社会開発研究2」と合併
DFAS7300	春	ラテンアメリカ経済研究(上級)1	ALA809-67J00	2	谷 洋之		博士前期課程「ラテンアメリカ経済研究1」と合併
DFAS7310	秋	ラテンアメリカ経済研究(上級)2	ALA810-67J00	2	谷 洋之		博士前期課程「ラテンアメリカ経済研究2」と合併
DFAS7700	春	イスパニア語圏の法・社会研究(上級)1	ALA817-67J00	2	ALAS MORENO Nancy		(B)博士後期課程「イスパニア語圏の法・社会研究1」と合併
DFAS7710	秋	イスパニア語圏の法・社会研究(上級)2	ALA818-67J00	2	ALAS MORENO Nancy		(B)博士後期課程「イスパニア語圏の法・社会研究2」と合併
DFAS7680	春	ヨーロッパ政治・社会研究(フランス語圏)(上級)1	AEU817-67J00	2	SERVERIN Simon		(B)博士後期課程「ヨーロッパ政治・社会研究(フランス語圏)1」と合併
DFAS7690	秋	ヨーロッパ政治・社会研究(フランス語圏)(上級)2	AEU818-67J00	2	SERVERIN Simon		(B)博士後期課程「ヨーロッパ政治・社会研究(フランス語圏)2」と合併

## 国際協力学専攻 修士課程

### Graduate Program in International Cooperation Studies (GPIC) Master's Program

#### 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

##### ／1. Courses, Credits and Number of Courses Required for Graduation

##### <2023・2024年次生／Students Who Entered the Program in 2023 or 2024>

要件項目名 Core curriculum	必要 単位数 Credits	必要 科目数 Number of courses	備考（上限、その他） Notes
総単位数／Total credits	30		
・選択必修科目 ／Compulsory elective courses	2		
└中核科目群／Core courses (海外実習科目・B群／Overseas studies courses, B-group)	2		
・選択科目／Elective courses	28		
└自専攻科目／GPIC courses			
└中核科目群／Core courses (基礎科目・A群) ／(Foundational courses, A-group)			
└専門科目群 ／Specialized courses (応用科目・C群／Advanced courses, C-group)			
└専門科目群 ／Specialized courses (応用実務科目・D群 ／Advanced practical courses, D-group)			
└専門科目群 ／Specialised courses (連携科目・E群 ／Associated courses, E-group)			
└自研究科他専攻科目／Courses from other programs in GSGS*			
研究指導（必修）／Research Guidance (compulsory)		3	単位なし、1年次秋学期以降毎学期登録される。3科目以上合格すること。 No credits are given. Research guidance is automatically registered every semester starting with the first Autumn semester. The student must obtain passing grades at least over 3 semesters.
修士論文もしくはリサーチペーパー／ Master's Thesis or Research Paper			必要な研究指導を受けた上、修士論文もしくはリサーチペーパーの審査および試験に合格すること。 The student must receive thesis guidance and pass the examination on his/her Master's Thesis/Research Paper.

▶ 海外実習科目2単位を選択必修とし、それを含む30単位を修得すること。

\* Graduate School of Global Studies

> 30 credits, including compulsory elective 2 credits from 1 overseas studies program, are required for graduation.

▶ 「研究指導」を1年次秋学期以降、毎学期履修し、必要な科目数を合格しなくてはならない。ただし、早期修了者および長期履修生については、必要合格科目数をそれぞれ2科目、5科目以上とする。

- > Research Guidance must be received every semester starting with the first Autumn semester. A passing grade is required each semester. Those who have elected for early completion and extended registration must pass 2 and 5 Research Guidance courses each.
- ▶ 修士課程修了要件は、履修上の注意にしたがったうえで、30 単位以上の単位を修得し、定められた手続きにより修士論文もしくはリサーチペーパーを提出して、口述試験に合格することである。
- > The requirements for the Master's Degree are to earn at least 30 credits in accordance with the curriculum guidance, to submit the Master's Thesis/Research Paper based on the procedures laid out, and to pass the oral examination on the Master's Thesis/Research Paper.

### <2025・2026年次生／Students Who Entered the Program in 2025 or 2026>

要件項目名 Core curriculum	必要 単位数 Credits	必要 科目数 Number of courses	備考（上限、その他） Notes
総単位数／Total credits	30		
・選択科目／Elective courses	30		
↳自専攻科目／GPIC courses			
↳中核科目群／Core courses (基礎科目・A群) ／(Foundational courses, A-group)			
↳中核科目群／Core courses (海外実習科目・B群／Overseas studies courses, B-group)			4単位を上限として修了要件に算入する。
↳専門科目群 ／Specialized courses (応用科目・C群／Advanced courses, C-group)			
↳専門科目群 ／Specialized courses (応用実務科目・D群 ／Advanced practical courses, D-group)			
↳専門科目群 ／Specialised courses (連携科目・E群 ／Associated courses, E-group)			
↳自研究科他専攻科目／Courses from other programs in GSGS*			
研究指導（必修）／Research Guidance (compulsory)		3	単位なし、1年次秋学期以降毎学期登録される。3科目以上合格すること。 No credits are given. Research guidance is automatically registered every semester starting with the first Autumn semester. The student must obtain passing grades at least over 3 semesters.
修士論文もしくはリサーチペーパー／ Master's Thesis or Research Paper			必要な研究指導を受けた上、修士論文もしくはリサーチペーパーの審査および試験に合格すること。 The student must receive thesis guidance and pass the examination on his/her Master's Thesis/Research Paper.

- ▶ 30 単位を修得すること。

\* Graduate School of Global Studies

- > The number of credits required for completion is 30.

- ▶ 「研究指導」を1年次秋学期以降、毎学期履修し、必要な科目数を合格しなくてはならない。ただし、早期修了者および長期履修生については、必要合格科目数をそれぞれ2科目、5科目以上とする。

- > Research Guidance must be received every semester starting with the first Autumn semester. A passing grade is required each semester. Those who have elected for early completion and extended registration must pass 2 and 5 Research Guidance courses each.

- ▶ 修士課程修了要件は、履修上の注意にしたがったうえで、30 単位以上の単位を修得し、定められた手続きにより修士論文もしくはリサーチペーパーを提出して、口述試験に合格することである。
- > The requirements for the Master's Degree are to earn at least 30 credits in accordance with the curriculum guidance, to submit the Master's Thesis/Research Paper based on the procedures laid out, and to pass the oral examination on the Master's Thesis/Research Paper.

## 【定められた手続きに関するスケジュール】

### （標準修業年限修了者）

#### <修士課程1年次>

4月上旬	入学式 国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
7月上旬～7月下旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（観覧者として）
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）

#### <修士課程2年次>

4月上旬	国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
7月上旬～7月下旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（報告者として）
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
11月上旬	修士論文およびリサーチペーパー「タイトル案および骨子」提出
1月上旬	修士論文およびリサーチペーパー提出期日
1月中旬～下旬	修士論文およびリサーチペーパー口述試験（後日結果通知）
3月下旬	学位授与式

### （早期修了希望者）

#### <修士課程1年次>

4月上旬	入学式 国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類受取 早期修了申請書を専攻主任（専攻事務室）に提出
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
7月上旬～7月下旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（報告者として）
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
11月上旬	修士論文およびリサーチペーパー「タイトル案および骨子」提出
1月上旬	修士論文およびリサーチペーパー提出期日
1月中旬～下旬	修士論文およびリサーチペーパー口述試験（後日結果通知）
3月下旬	学位授与式

### （長期履修生）

#### <修士課程1年目>

4月上旬	入学式 国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）

#### <修士課程2年目>

4月上旬	国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）

7月上旬～7月下旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（観覧者として）
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）

#### <修士課程3年目>

4月上旬	国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
7月上旬～7月下旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（報告者として）
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
11月上旬	修士論文およびリサーチペーパー「タイトル案および骨子」提出
1月上旬	修士論文およびリサーチペーパー提出期日
1月中旬～下旬	修士論文およびリサーチペーパー口述試験（後日結果通知）
3月下旬	学位授与式

### 【修士論文】

#### ① 修士論文審査基準

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、国際協力論およびその関連領域の知識の向上に寄与していること。
- 2) 先行研究が十分に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 論文の言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。

#### ② 修士論文審査方法

- 1) 論文審査委員会は、主査1名および2名以上の副査により構成する。
- 2) 主査は、グローバル・スタディーズ研究科に所属する大学院担当教員のうち指導教員の資格要件を備えるものと認められる者から選出し、論文審査委員会の委員長となる。
- 3) 副査は、グローバル・スタディーズ研究科に所属する大学院担当教員から選出するが、グローバル・スタディーズ研究科委員会が論文審査のために必要があると認めたときは、当該研究科委員会の議により、本学の他研究科又は学部の教員もしくは他の大学院又は研究所等の教員等を副査として招聘することができる。
- 4) 修士論文の審査は、執筆者の立ち合いの下会合（報告会）形式の下に行われる。
  - ・審査会は、修了年度の1月または2月に開催する。
  - ・評価は、A、B、C、D評価（合格）もしくはF評価（不合格）とする。

#### ③ 修士論文提出時の留意事項

- 1) 使用言語は、日本語か英語とする。
- 2) 修士論文の長さは、日本語の場合40,000字程度とする。英語の場合は15,000ワード程度とする。
- 3) 体裁は、表紙、目次、本体、結論、文献リストから成る。序論以下、各ページにページ数を入れる。表紙には、  
「20\*\*年度学位論文、論文題目（副題）、研究科・専攻名、修士課程、学生番号、氏名」を記入する。その他、修士論文の作成にあたっては、当該年度の履修要覧[ガイド・資料編]を確認して、記載されている指示に従って作成すること。
- 4) 修士論文の規格は、A4横書きとする。

## 【リサーチペーパー】

### ① リサーチペーパー審査基準

- 1) 修士論文の審査基準である学術的な側面だけでなく、実務での有用性という点を強く意識した構成であること。
- 2) 国際協力の現場ですぐ使える水準の実践的な内容を含んでいること。
- 3) 資料収集、分析の枠組み、理論的根拠が明確であり、かつ、必要に応じて国際協力の現場について現地調査を行い、その調査結果を報告するといった課題設定とするなど、研究結果が妥当であること。
- 4) 先行研究が十分に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 5) リサーチペーパーの形式は、必ずしも研究論文のものに準じることは求められず、一次資料だけではなく二次資料も活用しながら作成することができるが、構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 6) 言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表）に関する体裁が整っていること。

### ② リサーチペーパー審査方法

- 1) 審査委員会は、主査1名および2名以上の副査により構成する。
- 2) 主査は、当該研究科に所属する大学院担当教員のうち指導教員の資格要件を備えるものと認められる者から選出し、リサーチペーパー審査委員会の委員長となる。
- 3) 副査は、グローバル・スタディーズ研究科に所属する大学院担当教員から選出するが、グローバル・スタディーズ研究科委員会が論文審査のために必要であると認めるときは、当該研究科委員会の議により、本学の他研究科又は学部の教員もしくは他の大学院又は研究所等の教員等を副査として招聘することができる。
- 4) リサーチペーパーの審査は、執筆者の立ち合いの下会合（報告会）形式の下に行われる。
  - ・審査会は、修了年度の1月または2月に開催する。
  - ・評価は、A、B、C、D評価（合格）もしくはF評価（不合格）とする。

### ③ リサーチペーパー提出時の留意事項

- 1) 使用言語は、日本語か英語とする。
- 2) リサーチペーパーの長さは、日本語の場合20,000字程度、英語の場合は8,000ワード程度を目安とする。
- 3) 体裁は、表紙、目次、本体、結論、文献リストから成る。序論以下、各ページにページ数を入れる。表紙には、「20\*\*年度リサーチペーパー、論文題目（副題）、研究科・専攻名、修士課程、学生番号、氏名」を記入する。その他、リサーチペーパーの作成にあたっては、当該年度の履修要覧[ガイド・資料編]を確認して、記載されている指示に従って作成すること。
- 4) リサーチペーパーの規格は、A4横書きとする。

## 【Schedule for Designated Procedures】 （Standard completion for the Master's Degree）

### <1st year >

Early April	Entrance ceremony Guidance session (also to receive the necessary documents)
Early to mid-April	Course registration in Loyola for the Spring semester during the registration period
Early to late July	Observer participation in the mid-stage reporting session on the Master's theses/Research Papers
Mid- to late September	Course registration in Loyola for the Autumn semester during the registration period

### <2nd year >

Early April	Guidance session (also to receive the necessary documents) Early to mid-April Course registration in Loyola for the Spring semester during the registration period
Early to late July	Participation in the mid-stage reporting session on the Master's Theses/Research Papers

Mid- to late September	Course registration in Loyola for the Autumn semester during the registration period
Early to November	Submission of proposed title and outline of the Master's Thesis/Research Paper
Early January	Deadline for submitting the Master's Thesis/Research Paper
Mid to late January	Oral examination on the Master's Thesis/Research Paper (notification on the result to follow)
Late March	Graduation ceremony

### **(Early completion for the Master's Degree)**

#### **< 1st year >**

Early April	Entrance ceremony Guidance session (also to receive the necessary documents) Submission of the request for early completion to the Program Director/Office
Early to mid-April	Course registration in Loyola for the Spring semester during the registration period
Early to late July	Participation in the mid-stage reporting session on the Master's Theses/Research Papers
Mid- to late September	Course registration in Loyola for the Autumn semester during the registration period
Early to November	Submission of proposed title and outline of the Master's Thesis/Research Paper
Early January	Deadline for submitting the Master's Thesis/Research Paper
Mid to late January	Oral examination on the Master's Thesis/Research Paper (notification on the result to follow)
Late March	Graduation ceremony

### **【Extended registration for the Master's Degree】**

#### **< 1st year >**

Early April	Entrance ceremony Guidance session (also to receive the necessary documents)
Early to mid-April	Course registration in Loyola for the Spring semester during the registration period
Mid- to late September	Course registration in Loyola for the Autumn semester during the registration period

#### **< 2nd year >**

Early April	Guidance session (also to receive the necessary documents)
Early to mid-April	Course registration in Loyola for the Spring semester during the registration period
Early to late July	Observer participation in the mid-stage reporting session on the Master's theses/Research Papers
Mid- to late September	Course registration in Loyola for the Autumn semester during the registration period

**<3rd year >**

Early April	Guidance session (also to receive the necessary documents)
Early to mid-April	Course registration in Loyola for the Spring semester during the registration period
Early to late July	Participation in the mid-stage reporting session on the Master's Theses/Research Papers
Mid- to late September	Course registration in Loyola for the Autumn semester during the registration period
Early to November	Submission of proposed title and outline of the Master's Thesis/Research Paper
Early January	Deadline for submitting the Master's Thesis/Research Paper
Mid to late January	Oral examination on the Master's Thesis/Research Paper (notification on the result to follow)
Late March	Graduation ceremony

**【Master's Thesis】****① Evaluation Criteria for Master's Thesis**

- 1) The problem awareness is clear, the theme setting is appropriate, and the thesis contributes to the advancement of knowledge in international cooperation studies and related fields.
- 2) The previous studies are sufficiently examined and scrutinized, and the source citation and quotation are done properly.
- 3) The thesis structure is accurate, and the logical development is consistent and coherent.
- 4) The language expression of the thesis is appropriate, and the format of the table of contents, notes, appendices (figures, tables, materials, reference lists, etc.) is in order.

**② Evaluation Method for Master's Thesis**

- 1) The thesis evaluation committee consists of one chief examiner and two or more sub-examiners.
- 2) The chief examiner is selected from among the graduate faculty members of the Graduate School of Global Studies who are recognized as having the qualification requirements of the supervisor, and becomes the chairperson of the thesis evaluation committee.
- 3) The sub-examiners are selected from among the graduate faculty members of the Graduate School of Global Studies, but when the Graduate School of Global Studies Committee deems it necessary for the thesis evaluation, the committee may invite faculty members from other graduate schools or faculties of this university or from other graduate schools or research institutes as sub-examiners.
- 4) The evaluation of the master's thesis is conducted in a meeting (presentation) format with the participation of the author.
  - The evaluation meeting is held in January or February of the completion year.
  - The evaluation is either A, B, C, D (pass) or F (fail).

**③ Points to Note When Submitting a Master's Thesis**

- 1) The language used is either Japanese or English.
- 2) The length of the master's thesis is about 40,000 characters in Japanese and about 15,000 words in English.
- 3) The format consists of a cover page, a table of contents, a main body, a conclusion, and a reference list. Put page numbers on each page from the introduction onwards. On the cover page, write "20\*\* Academic Year Degree Thesis, Thesis Title (Subtitle), Graduate School and Major Name, Master's Program, Student Number, Name". In addition, when writing a master's thesis, check the curriculum guide [Guide and Materials Edition] of the relevant academic year and follow the instructions given there.
- 4) The standard of the master's thesis is A4 horizontal writing.

**【Research Paper】****① Evaluation Criteria for a Research Paper**

- 1) The structure should be designed with a strong awareness of practical usefulness in addition to the academic aspects that are the evaluation criteria for a master's thesis.
- 2) It should contain practical content at a level that can be used immediately in the field of international cooperation.
- 3) The framework for data collection and analysis, as well as the theoretical basis, should be clear, and the research results should be valid, such as setting tasks such as conducting on-site surveys on the field of international cooperation and reporting the results of the survey.
- 4) The previous studies must be sufficiently examined and scrutinized, and the source citation and quotation must be done properly.
- 5) The format of the research paper does not necessarily have to follow that of a research paper, and it is possible to create it while utilizing secondary materials as well as primary materials. However, the structure should be accurate, and the logical development should be consistent and coherent.
- 6) The language expression of the research paper should be appropriate, and the format of the table of contents, notes, appendices (figures, tables, materials, reference lists, etc.) should be in order.

**② Evaluation Method for a Research Paper**

- 1) The evaluation committee consists of one chief examiner and two or more sub-examiners.
- 2) The chief examiner is selected from among the graduate faculty members of the Graduate School of Global Studies who are recognized as having the qualification requirements of the supervisor, and becomes the chairperson of the research paper evaluation committee.
- 3) The sub-examiners are selected from among the graduate faculty members of the Graduate School of Global Studies. However, when the Graduate School of Global Studies Committee deems it necessary for the research paper evaluation, the committee may invite faculty members from other graduate schools or faculties of this university or from other graduate schools or research institutes as sub-examiners.
- 4) The evaluation of the research paper is conducted in a meeting (presentation) format with the participation of the author.
  - The evaluation meeting is held in January or February of the completion year.
  - The evaluation is either A, B, C, D (pass) or F (fail).

**③ Points to Note When Submitting a Research Paper**

- 1) The language used must be either Japanese or English.
- 2) The length of the research paper is about 20,000 characters in Japanese and about 8,000 words in English.
- 3) The format consists of a cover, table of contents, main body, conclusion, and reference list. The page number should be included on each page below the introduction. On the cover, write "Research Paper for the 20\*\* Academic Year, Paper Title (Subtitle), Graduate School/Major, Master's Program, Student Number, Name". When creating a research paper, check the guide and materials for the academic year in question and create it according to the instructions listed.
- 4) The standard for the research paper is A4 horizontal writing.

## 2. 授業科目の編成・単位

## /2. Course Structure and Credits

## &lt;2023・2024年次生/Students Who Entered the Program in 2023 or 2024&gt;

科目名/Course Title *1: Compulsory *2: Compulsory Elective *3: Elective	単位数 Credits		
	必修 *1	選択 *2	選択 *3
<中核科目群(基礎科目・A群)> <Core Courses (Foundational Courses - Group A)>			
UN STUDIES			2
INTERNATIONAL ORGANIZATIONS			2
PEACEBUILDING SEMINAR			2
国際政治と国際協力			2
中国政治外交			2
STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1			2
EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT			2
MARGINALIZED PEOPLES AND COMMUNITIES 1			2
MARGINALIZED PEOPLES AND COMMUNITIES 2			2
環境と開発1			2
QUANTITATIVE RESEARCH METHODS ※注1/* Note 1			2
<中核科目群(海外実習科目・B群)> <Core Courses (Overseas Studies Programs-Group B)>			
持続可能性に関するスタディツアー FIELD STUDY ON SUSTAINABILITY		2	
国際協力と多文化共生：米国ワシントン州・スタディツアー/ INTERNATIONAL COOPERATION AND MULTICULTURAL COEXISTENCE: FIELDWORK IN WASHINGTON STATE, USA		2	
日韓関係の現場から学ぶ平和と協力：韓国スタディツアー		2	
アフリカから学ぶB		4	
<専門科目群(応用科目・C群)> <Specialized Courses (Advanced Courses-Group C)>			
外交と国際協力論			2
EUの対外政策と国際協力			2
HUMAN SECURITY AND PEACEBUILDING			2
STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2			2
NON-FORMAL EDUCATION AND LIFELONG LEARNING			2
環境と開発2			2
POLITICAL INSTITUTIONS IN CONTEMPORARY AFRICA			2
GENDER AND POLITICS 1 ※注2/*Note 2			2
国際コミュニケーション論特講 I ※注3/*Note 3			2
国際コミュニケーション論特講 II ※注3/*Note 3			2

※注1：グローバル社会専攻開講科目

\* Note 1: Course pertaining to the Graduate Program in Global Studies

※注2：法律学専攻開講科目

\* Note 2: Course pertaining to the Graduate Program in Law

科目名/Course Title *1: Compulsory *2: Compulsory Elective *3: Elective	単位数 Credits		
	必修 *1	選択 *2	選択 *3
<専門科目群(応用実務科目・D群)> <Specialized Courses (Advanced Practical Courses-Group D)>			
パブリックリレーションズ			2
PROJECT MANAGEMENT 1			2
PROJECT MANAGEMENT 2			2
INTERNATIONAL FINANCING FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT			2
<専門科目群(連携科目・E群)> <Specialized Courses (Associated Courses-Group E)>			
グローバルガバナンス論研究1 ※注4/*Note 4			2
グローバルガバナンス論研究2 ※注4/*Note 4			2
国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ) ※注4/*Note 4			2
国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ) ※注4/*Note 4			2
国際法研究V ※注2/* Note 2			2
平和学特講 ※注5/*Note 5			2
国際経済学研究1 ※注4/*Note 4			2
国際経済学研究2 ※注4/*Note 4			2
国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ) ※注4/*Note 4			2
国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ) ※注4/*Note 4			2
国際協力基礎研究 ※注6/*Note 6			2
国際開発協力研究：東南アジア ※注6/*Note 6			2
国際開発協力研究：中東 ※注6/*Note 6			2
国際開発協力研究：ラテンアメリカ ※注6/*Note 6			2
南アジアジェンダー研究1 ※注6/*Note 6			2
南アジアジェンダー研究2 ※注6/*Note 6			2
分野横断研究法：原理と技法 ※注5/*Note 5			2

※注3：新聞学専攻開講科目

\* Note 3: Course pertaining to the Graduate Program in Journalism

※注4：国際関係論専攻開講科目

\* Note 4: Course pertaining to the Graduate Program in International Relations

※注5：神学専攻開講科目

\* Note 5: Course pertaining to the Graduate Program in Theology

※注6：地域研究専攻開講科目

\* Note 6: Course pertaining to the Graduate Program in Area Studies

上記注科目の詳細については各専攻の履修要覧を確認すること。

Please consult the details of these courses in their respective graduate programs.

## &lt;2025・2026年次生／Students Who Entered the Program in 2025 or 2026&gt;

科目名／Course Title *1: Compulsory *2: Compulsory Elective *3: Elective	単位数 Credits		
	必修 *1	選必修 *2	選択 *3
<中核科目群(基礎科目・A群)> <Core Courses (Foundational Courses - Group A)>			
UN STUDIES			2
INTERNATIONAL ORGANIZATIONS			2
PEACEBUILDING SEMINAR			2
国際政治と国際協力			2
中国政治外交			2
STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1			2
EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT			2
MARGINALIZED PEOPLES AND COMMUNITIES 1			2
MARGINALIZED PEOPLES AND COMMUNITIES 2			2
環境と開発1			2
QUANTITATIVE RESEARCH METHODS ※注1/* Note 1			2
<中核科目群(海外実習科目・B群)> <Core Courses (Overseas Studies Programs-Group B)>			
持続可能性に関するスタディツアー FIELD STUDY ON SUSTAINABILITY			2
国際協力と多文化共生：米国ワシントン州・スタディツアー/ INTERNATIONAL COOPERATION AND MULTICULTURAL COEXISTENCE: FIELDWORK IN WASHINGTON STATE, USA			2
日韓関係の現場から学ぶ平和と協力：韓国スタディツアー			2
アフリカから学ぶB			4
<専門科目群(応用科目・C群)> <Specialized Courses (Advanced Courses-Group C)>			
外交と国際協力論			2
EUの対外政策と国際協力			2
HUMAN SECURITY AND PEACEBUILDING			2
STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2			2
NON-FORMAL EDUCATION AND LIFELONG LEARNING			2
環境と開発2			2
POLITICAL INSTITUTIONS IN CONTEMPORARY AFRICA			2
GENDER AND POLITICS 1 ※注2/*Note 2			2
国際コミュニケーション論特講Ⅰ ※注3/*Note 3			2
国際コミュニケーション論特講Ⅱ ※注3/*Note 3			2

※注1：グローバル社会専攻開講科目

\* Note 1: Course pertaining to the Graduate Program in Global Studies

※注2：法律学専攻開講科目

\* Note 2: Course pertaining to the Graduate Program in Law

※注3：新聞学専攻開講科目

\* Note 3: Course pertaining to the Graduate Program in Journalism

科目名／Course Title *1: Compulsory *2: Compulsory Elective *3: Elective	単位数 Credits		
	必修 *1	選必修 *2	選択 *3
<専門科目群(応用実務科目・D群)> <Specialized Courses (Advanced Practical Courses-Group D)>			
パブリックリレーションズ			2
PROJECT MANAGEMENT 1			2
PROJECT MANAGEMENT 2			2
INTERNATIONAL FINANCING FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT			2
<専門科目群(連携科目・E群)> <Specialized Courses (Associated Courses-Group E)>			
グローバルガバナンス論研究1 ※注4/*Note 4			2
グローバルガバナンス論研究2 ※注4/*Note 4			2
国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ) ※注4/*Note 4			2
国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ) ※注4/*Note 4			2
国際法研究Ⅴ ※注2/* Note 2			2
平和学特講 ※注5/*Note 5			2
国際経済学研究1 ※注4/*Note 4			2
国際経済学研究2 ※注4/*Note 4			2
国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ) ※注4/*Note 4			2
国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ) ※注4/*Note 4			2
国際協力基礎研究 ※注6/*Note 6			2
国際開発協力研究：東南アジア ※注6/*Note 6			2
国際開発協力研究：中東 ※注6/*Note 6			2
国際開発協力研究：ラテンアメリカ ※注6/*Note 6			2
南アジアジェンダー研究1 ※注6/*Note 6			2
南アジアジェンダー研究2 ※注6/*Note 6			2
分野横断研究法：原理と技法 ※注5/*Note 5			2

※注4：国際関係論専攻開講科目

\* Note 4: Course pertaining to the Graduate Program in International Relations

※注5：神学専攻開講科目

\* Note 5: Course pertaining to the Graduate Program in Theology

※注6：地域研究専攻開講科目

\* Note 6: Course pertaining to the Graduate Program in Area Studies

上記注科目の詳細については各専攻の履修要覧を確認すること。

Please consult the details of these courses in their respective graduate programs.

### 3. 履修上の注意

- 1) 2023 か 2024 年に入学した学生は、選択必修科目として[中核科目群（海外実習科目・B 群）] から 2 単位、ならびに選択科目として[中核科目群（基礎科目・A 群）]、[専門科目群（応用科目・C 群）、（応用実務科目・D 群）、（連携科目・E 群）]から 28 単位以上を修得しなければならない。なお、[中核科目群（海外実習科目・B 群）] は、選択必修として必要な 2 単位以上を履修することはできるが、余剰分は修了要件に算入されない。各履修群の分類については「2. 授業科目の編成・単位」を参照すること。
- 2) 2025 年以降に入学した学生は、選択科目として[中核科目群（基礎科目・A 群）および（海外実習科目・B 群）]、[専門科目群（応用科目・C 群）、（応用実務科目・D 群）、（連携科目・E 群）]から 30 単位以上を修得しなければならない。なお、[中核科目群（海外実習科目・B 群）] は、選択科目として 4 単位を上限として修了要件に算入する。各履修群の分類については「2. 授業科目の編成・単位」を参照すること。
- 3) 海外実習科目・B 群は、履修登録期間とは別に Loyola 掲示板で履修者募集の案内について情報掲出するので、案内に従って必要な科目を履修すること。
- 4) 「分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講 2026 年度秋学期金曜日 5 時限 2 単位科目）は、分野横断型の科目として、2022 年度から新たに開講された。  
本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位に算入される。  
本科目は定員 30 名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2026 年度履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照すること。履修登録を行わずに授業に出ることはできない。なお、評価には、P（合格）・X（不合格）を使用する。
- 5) 修士課程学生は、本専攻の教育・研究の柱が「平和構築・国際関係」、「国際教育開発」、「持続可能な社会の促進」であることを十分理解したうえで、各自研究計画の遂行に適した授業科目を検討するとともに、1 年次秋学期に修士論文もしくはリサーチペーパーの指導教員（本学国際協力学専攻専任教員）を決定し、指導教員の指導にしたがって必要な科目を履修すること。
- 6) 年度初めに行う専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文」「リサーチペーパー」等について説明を行うので、必ず出席すること。
- 7) 「研究指導」を 1 年次秋学期以降、每学期履修し、必要な科目数を合格しなくてはならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 8) 科目選択にあたっては指導教員と相談の上、決定することとする。
- 9) 修士論文およびリサーチペーパーの提出にあたっては、基礎理論やリサーチの方法論をベースに、研究課題のテーマ設定を行い、その下に基礎資料を収集し、論文や課題の概略を用意させて、プロポーザルレビューを行う。
- 10) 修了条件は、上記 1) ～9) にしたがった上で、30 単位以上の単位を修得し、定められた手続きにより修士論文もしくはリサーチペーパーを提出して、口述試験に合格することである。
- 11) 大学院学則の規定に従い、本専攻入学以前に国内外の大学院で既に修得した単位を、本専攻修了に必要な単位として認定を受けることができる（入学前既修得単位認定）。また本専攻在学中に留学先大学院等で修得した単位を、本専攻修了に必要な単位として換算することを申請できる（単位換算）。いずれの場合も、学事センターへ申請が提出された後、本専攻にて審議し、認定の可否を判断する。単位数は、本学の基準により計算する。認定・換算できる総単位数は 10 単位を上限とする。
- 12) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻事務室、指導教員、専攻主任などと相談すること。

**(早期修了希望者)**

上記のほか、以下のとおりの取り扱いとする。

- 1) 上智大学大学院学則第 21 条第 3 項に規定する 1 年間の在学期間（早期修了）を希望する者は、1 年次 4 月第 2 月曜日までに、国際協力学専攻主任（国際協力学専攻事務室）に申し出ること。  
同項に規定する「優れた業績を上げた者」とは、修了に必要な修得単位の成績評価の GPA が 3.8 以上であり、修士論文もしくはリサーチペーパーが、審査委員会によって B 以上と評価された者とする。
- 2) 早期修了の予定を取り消す者については、指導教員の承認を得て、1 年次 11 月第 1 月曜日までに、「早期修了取消届出書」（\*所定用紙）を、国際協力学専攻主任（国際協力学専攻事務室）に届け出ること。その者の履修は、上記の標準修業年限（2 年）修了予定者に準ずる。  
\*上記所定用紙は、国際協力学専攻事務室にて配付。
- 3) 「履修上の注意」のうち 7) については、以下のとおり読み替える。  
「研究指導」を 1 年次春学期および秋学期に履修し、合格しなくてはならない。

**(長期履修学生)**

上記のほか、以下のとおりの取り扱いとする。

- 1) 長期履修学生が、履修期間の短縮を希望する場合は、1 年次の 2 月第 3 月曜日までに「長期履修学生履修期間変更申請書」（\*所定用紙）を、国際協力学専攻主任（国際協力学専攻事務室）に届け出ること。その者の履修期間の変更は 1 回限りとする。  
\*上記所定用紙は、国際協力学専攻事務室にて配付。

**3. Notes for Registration**

- 1) Students admitted in 2023 or 2024 must take 2 credits from the Compulsory Elective Courses (Overseas Studies Programs–Group B) and 28 credits from the Elective Courses (Foundational Courses–Group A), the Specialized Courses (Advanced Courses–Group C), the Specialized Courses (Advanced Practical Courses–Group D), and the Specialized Courses (Associated Courses–Group E). Please note that the student can take more than 1 Compulsory Elective Courses but only 1 course with 2 credits will count for completing the requirements for graduation. Please consult "2. Structure of Courses and Credits" for details.
- 2) Students admitted in 2025 or 2026 must take 30 credits from the Elective Courses (Foundational Courses–Group A) and (Overseas Studies Programs–Group B), the Specialized Courses (Advanced Courses–Group C), the Specialized Courses (Advanced Practical Courses–Group D), and the Specialized Courses (Associated Courses–Group E). Please note that the student can take more than 1 Overseas Studies Programs (Group B) but only 4 credits will count for completing the requirements for graduation. Please consult "2. Structure of Courses and Credits" for details.
- 3) The Overseas Studies Programs are registered separately from the regular courses (after the regular registration period). Information on application for these courses will be provided in Loyola.
- 4) Cross-Disciplinary Research Methods: Principles and skills (offered by the Gradual Program in Theology, Graduate School of Theology, Autumn Semester, Friday, 5th period, 2 credits)  
This course is cross-disciplinary and offered since 2022. The credits earned from this course will be counted for the credits needed for graduation in the Graduate Program in International Cooperation Studies.  
The course accepts only 30 students. If the number of applicants exceeds the ceiling, there will be lottery. Please consult the 2026 Curriculum Guide for details on the period of entry into the lottery and its method, as well as how to register for the course on a first-come basis after the lottery entry period. No students will be allowed to attend the course without registration.

- 5) The student must know that the Graduate Program consists of the main pillars of “the Peacebuilding, International Relations”, “the International Education Development”, and “the Promotion of a Sustainable Society”, and selects courses that are suitable to the pillar of studies of choice. The student is advised to decide on the supervisor for the Master’s Thesis/Research Paper in the first Autumn semester and follows the guidance given by the supervisor to select and register the necessary courses. The supervisor can be selected from the core full-time professors of the Graduate Program.
- 6) The student must attend the Guidance Session that takes place at the beginning of each academic year. Information on research guidance and Master’s Thesis/Research Paper, is provided in the Guidance Session.
- 7) The student must take the Research Guidance course each semester starting with the first Autumn semester and obtain a passing grade. Please refer to “1. Courses, Credits and Number of Courses” for details on the number of courses required for Research Guidance.
- 8) Please consult the supervisor for selecting courses before registering them.
- 9) When submitting the Thesis/Research Paper, please make sure that the theme was decided on the basis of relevant theories and research methods, and that the proposal had been reviewed with respect to the necessary research materials, thesis outlines and the objectives of the study.
- 10) The requirements for graduation are to have obtained at least 30 credits on the basis of the guidance 1) to 9) above, and to have passed the oral examination on the Thesis/Research Paper submitted in accordance with the procedures laid out.
- 11) In accordance with the university’s academic regulations, the credits earned in the graduate school in and out of Japan prior to the enrollment in the Graduate Program can be accepted as those that are required for graduation (recognition of the credits prior to the enrollment). Furthermore, the credits earned in the graduate school in the exchange program can be requested to be accepted as those that are required for graduation. In either case, a request should be submitted to the Academic Center. The Graduate Program will examine the request and decide whether or not to approve it. The number of credits allowed will be calculated on the basis of the university’s credit system. The maximum number of total credits calculated and approved in this manner is 10 credits.
- 12) Any other points that are not clear should be checked against the university’s academic regulations and the rules governing the granting of academic degrees. They may also be clarified with the Graduate Program Office, the supervisor, the Graduate Program Director and so forth.

### **(Students for early graduation)**

In addition to the above, the following procedures also apply.

- 1) The student who wishes to graduate in one year (early graduation) in accordance with the university’s academic regulation Article 21, Item 3 must consult with the Director of the Graduate Program in International Cooperation Studies by the second Monday of April in the first year. The regulation referred above defines “an outstanding academic achievement” as the student who has attained 3.8 or higher GPA and received a B grade or higher for the Graduate Thesis/Research Paper from the Assessment Committee.
- 2) In case the student decides to annul the plan to graduate early, the student must submit a request to annul early graduation (using the format provided) to the Director of the Graduate Program in International Cooperation Studies (the Program Office) by the first Monday of November in the first year. In that case, the regular two-year program requirements will apply.  
Note: The formats are available from the Program Office.
- 3) Item 7 of the Notes on Registration will read, as follows:  
“The student must take the Research Guidance course in the Spring and Autumn semesters of the first year and obtain a passing grade each.”

**(Students for extended registration)**

In addition to the above, the following procedures also apply:

- 1) 1) In case the student on the extended registration wishes to shorten the period of extended registration, the student must submit a request to change the period of registration (using the format provided) to the Director of the Graduate Program in International Cooperation Studies (the Program Office) by the third Monday of February of their first year. The change can be accepted only once.

Note: The format is available from the Program Office.

**4. 研究指導一覧表 / Supervisor**

ナンバリング Numbering	担当教員名 Instructor's Name	備考 Notes
ICP526-60j00	梅宮 直樹 / UMEMIYA Naoki	
	杉浦 未希子 / SUGIURA Mikiko	
	東 大作 / HIGASHI Daisaku	
	丸山 英樹 / MARUYAMA Hideki	
	水谷 裕佳 / MIZUTANI Yuka	
	渡辺 紫乃 / WATANABE Shino	
	李 ウォンギョン / RHEE Wonkyung	

## 開講科目一覧表[国際協力学専攻修士課程]

登録コード Registration Code	開講期 Semester	科目名 Course Title	ナンバリング Numbering	単位数 Credits	担当教員名 Instructor's Name ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考 Notes
MFIC1000	秋 AUT	UN STUDIES	ICP501-60e00	2	(他)近藤 哲生 KONDO Tetsuo	○	
MFIC1020	春 SPR	INTERNATIONAL ORGANIZATIONS	ICP503-60e00	2	李 ウォンギョン RHEE Wonkyung	○	
MFIC1040	春 SPR	PEACEBUILDING SEMINAR	POL501-60e00	2	東 大作 HIGASHI Daisaku	○	
MFIC1060	春 SPR	国際政治と国際協力	IRS502-60j00	2	渡辺 紫乃 WATANABE Shino		隔年開講 Offered in alternate years
MFIC1470	秋 AUT	中国政治外交	IRS504-60j00	2	渡辺 紫乃 WATANABE Shino		
MFIC1080	春 SPR	STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1	EDU501-60e00	2	梅宮 直樹 UMEMIYA Naoki	○	
MFIC1090	秋 AUT	EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT	EDU502-60e00	2	丸山 英樹 MARUYAMA Hideki	○	国際関係論専攻開講科目 「DEVELOPING SUSTAINABLE EDUCATION」と合併
MFIC1500	春 SPR	MARGINALIZED PEOPLES AND COMMUNITIES 1	ARS503-60e00	2	水谷 裕佳 MIZUTANI Yuka	○	
MFIC1510	休講 Not Offered	MARGINALIZED PEOPLES AND COMMUNITIES 2	ARS504-60e00	2	水谷 裕佳 MIZUTANI Yuka	○	
MFIC1520	春 SPR	環境と開発1	ENV503-60j00	2	杉浦 未希子 SUGIURA Mikiko		
MFIC1200	秋 AUT	持続可能性に関するスタディツアー FIELD STUDY ON SUSTAINABILITY	SEP506-60m00	2	丸山 英樹 MARUYAMA Hideki	○	秋学期集中科目、授業は日本語と英語で行う Intensive (Autumn)
MFIC1550	春 SPR	国際協力和多文化共生 ：米国ワシントン州・スタディツアー INTERNATIONAL COOPERATION AND MULTICULTURAL COEXISTENCE: FIELDWORK IN WASHINGTON STATE, USA	SEP508-60m00	2	李 ウォンギョン RHEE Wonkyung	○	春学期集中科目、授業は日本語と英語で行う Intensive (Spring)
MFIC1560	秋 AUT	日韓関係の現場から学ぶ平和と協力 ：韓国スタディツアー	SEP509-60m00	2	李 ウォンギョン RHEE Wonkyung		秋学期集中科目、授業は日本語と英語で行う
MFIC1590	秋 AUT	アフリカから学ぶB	SEP510-60m00	4	大平 和希子 OHIRA Wakiko		秋学期集中科目、授業は日本語と英語で行う
MFIC1240	春 SPR	外交と国際協力論	ICP510-60j00	2	*山本 栄二 YAMAMOTO Eiji		
MFIC1250	春 SPR	EUの対外政策と国際協力	ICP511-60j00	2	(他)中内 政貴 NAKAUCHI Masataka		国際関係論開講科目「地域統合研究1」と合併
MFIC1280	秋 AUT	HUMAN SECURITY AND PEACEBUILDING	ICP513-60e00	2	滝崎 成樹 TAKIZAKI Shigeki	○	
MFIC1300	秋 AUT	STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2	EDU503-60e00	2	梅宮 直樹 UMEMIYA Naoki	○	
MFIC1310	休講 Not Offered	NON-FORMAL EDUCATION AND LIFELONG LEARNING	EDU504-60e00	2	丸山 英樹 MARUYAMA Hideki	○	
MFIC1530	秋 AUT	環境と開発2	ENV504-60j00	2	杉浦 未希子 SUGIURA Mikiko		
MFIC1580	秋 AUT	POLITICAL INSTITUTIONS IN CONTEMPORARY AFRICA	ARS506-60e00	2	大平 和希子 OHIRA Wakiko	○	
MFIC1350	1Q	PROJECT MANAGEMENT 1	ICP517-60e00	2	*ROSSITTO Sarajejan	○	
MFIC1360	3Q	PROJECT MANAGEMENT 2	ICP518-60e00	2	*ROSSITTO Sarajejan	○	
MFIC1490	春 SPR	INTERNATIONAL FINANCING FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT	ICP531-60e00	2	(他)近藤 哲生 KONDO Tetsuo	○	
MFIC1480	秋 AUT	パブリックリレーションズ	ICP530-60j00	2	上岡 典彦 UEOKA Norihiko		
MFIC9001	春 SPR	修士論文 THESIS	ICP601-60j00	0	国際協力学専攻 各指導教員 Supervisor in GPC Master's Program		M2 (M1早期修了予定者含む) 対象
MFIC9011	春 SPR	リサーチペーパー RESEARCH PAPER	ICP602-60j00	0	国際協力学専攻 各指導教員 Supervisor in GPC Master's Program		M2 (M1早期修了予定者含む) 対象
MFIC9000	秋 AUT	修士論文 THESIS	ICP601-60j00	0	国際協力学専攻 各指導教員 Supervisor in GPC Master's Program		M2 (M1早期修了予定者含む) 対象
MFIC9010	秋 AUT	リサーチペーパー RESEARCH PAPER	ICP602-60j00	0	国際協力学専攻 各指導教員 Supervisor in GPC Master's Program		M2 (M1早期修了予定者含む) 対象